

基本設計書

病名検索システムJava版
基本設計書

2002年04月20日 第1.0版

富士ゼロックス情報システム株式会社

1	はじめに	1
1.1	本ドキュメントについて	1
2	開発・動作環境	2
2.1	動作環境	2
2.2	開発言語、開発環境	2
2.3	性能要件	2
3	機能概要	3
3.1	プログラム構成	3
3.2	表記	3
4	病名 DB アクセス基本ライブラリ	4
4.1	使用方法	4
4.2	インターフェース一覧.....	4
4.3	エラー処理.....	6
4.4	インターフェース仕様.....	7
4.4.1.	初期化	7
4.4.2.	病名ノードリスト取得.....	7
4.4.3.	病名キーワード検索.....	7
4.4.4.	類似病名検索	8
4.4.5.	良く使う修飾語検索.....	8
4.4.6.	接続修飾語区分取得.....	8
4.4.7.	修飾語区分検索.....	8
4.4.8.	修飾語キーワード検索.....	9
4.4.9.	修飾語ノードリスト取得.....	9
4.4.10.	修飾語ジャンプドロップダウン項目取得.....	9
4.4.11.	病名詳細情報取得.....	9
4.4.12.	病名交換用コード正規化.....	10
4.4.13.	修飾語詳細情報取得	10
4.4.14.	修飾語排他チェック	10
4.4.15.	キーワード詳細情報取得.....	10
4.4.16.	病名交換用コードに対応するキーワードの一覧検索	10
4.4.17.	修飾語コードに対応するキーワードの一覧検索	10
4.4.18.	病名パス合成	11

4.4.19.	病名パス分解	11
4.4.20.	修飾語ソート	11
4.4.21.	基本修飾語コード取得	11
4.4.22.	ファイルバージョン取得	11
4.4.23.	大文字小文字変換	11
4.4.24.	全角半角変換	12
4.4.25.	ハイフン変換	12
4.4.26.	異体字変換	12
4.4.27.	修飾語パス取得	12
4.4.28.	基本修飾語 ID 取得	12
4.4.29.	平仮名片仮名変換	12
4.5	引数クラス一覧	13
4.5.1.	Wrapper	13
4.5.2.	ModifierBeforeSort	13
4.6	結果クラス一覧	13
4.6.1.	ResultDiseaseNode	13
4.6.2.	ResultDisease	13
4.6.3.	ResultModifierNode	14
4.6.4.	ResultModifier	14
4.6.5.	ResultConnectiveModifierCategory	14
4.6.6.	ResultModifierJumpltem	14
4.6.7.	ResultKeyword	14
4.6.8.	DiseaseDetail	15
4.6.9.	ModifierDetail	15
4.6.10.	KeywordDetail	15
4.6.11.	ResultDiseaseNodeList	15
4.6.12.	ResultDiseaseList	15
4.6.13.	ResultModifierNodeList	15
4.6.14.	ResultModifierList	15
4.6.15.	ResultKeywordList	15
5	病名検索 JAVA BEANS	16
5.1	使用方法	16
5.2	JAVABEANS コントローラー一覧	16
5.3	エラー処理	17
5.4	イベント処理	17

5.5	プロパティの取得、指定処理。	17
5.6	フォントサイズ	17
5.6.1.	スタイル一覧	17
5.7	共通プロパティ	18
5.8	動作環境	18
5.9	病名ツリー検索ビュー	19
5.9.1.	コントロール構成	19
5.9.2.	使用コントロール一覧	19
5.9.3.	プロパティ一覧	19
5.9.4.	メソッド一覧	21
5.9.5.	イベント一覧	21
5.9.6.	初期状態	21
5.9.7.	アイコン表示	21
5.10	病名キーワード検索ビュー	23
5.10.1.	コントロール構成	23
5.10.2.	使用コントロール一覧	23
5.10.3.	プロパティ一覧	23
5.10.4.	メソッド一覧	25
5.10.5.	イベント一覧	25
5.10.6.	初期状態	25
5.10.7.	同義語区分	25
5.11	病名自由検索ビュー	26
5.11.1.	コントロール構成	26
5.11.2.	使用コントロール一覧	26
5.11.3.	プロパティ一覧	26
5.11.4.	メソッド一覧	28
5.11.5.	イベント一覧	28
5.11.6.	初期状態	28
5.11.7.	同義語区分	28
5.12	類似病名検索ビュー	29
5.12.1.	コントロール構成	29
5.12.2.	使用コントロール一覧	29
5.12.3.	プロパティ一覧	29
5.12.4.	メソッド一覧	30
5.12.5.	イベント一覧	30
5.12.6.	初期状態	31

5.13	病名パネル.....	32
5.13.1.	コントロール構成.....	32
5.13.2.	使用コントロール一覧.....	32
5.13.3.	プロパティ一覧.....	32
5.13.4.	メソッド一覧.....	33
5.13.5.	イベント一覧.....	34
5.13.6.	初期状態.....	34
5.14	良く使う修飾語ビュー.....	35
5.14.1.	コントロール構成.....	35
5.14.2.	使用コントロール一覧.....	35
5.14.3.	プロパティ一覧.....	35
5.14.4.	メソッド一覧.....	36
5.14.5.	イベント一覧.....	37
5.14.6.	初期状態.....	37
5.14.7.	ドロップダウン項目.....	37
5.15	修飾語ツリー検索ビュー.....	38
5.15.1.	コントロール構成.....	38
5.15.2.	使用コントロール一覧.....	38
5.15.3.	プロパティ一覧.....	38
5.15.4.	メソッド一覧.....	40
5.15.5.	イベント一覧.....	40
5.15.6.	アイコン表示.....	40
5.15.7.	ドロップダウン項目.....	41
5.16	修飾語キーワード検索ビュー.....	42
5.16.1.	コントロール構成.....	42
5.16.2.	使用コントロール一覧.....	42
5.16.3.	プロパティ一覧.....	42
5.16.4.	メソッド一覧.....	43
5.16.5.	イベント一覧.....	43
5.16.6.	初期表示.....	44
5.17	修飾語部位検索ビュー.....	45
5.17.1.	コントロール構成.....	45
5.17.2.	使用コントロール一覧.....	45
5.17.3.	プロパティ一覧.....	45
5.17.4.	メソッド一覧.....	46
5.17.5.	イベント一覧.....	47

5.17.6.	初期表示	47
5.17.7.	エリア情報、画像	47
5.18	基本修飾語パネル	49
5.18.1.	コントロール構成	49
5.18.2.	使用コントロール一覧	49
5.18.3.	プロパティ一覧	49
5.18.4.	メソッド一覧	49
5.18.5.	イベント一覧	49
5.18.6.	初期表示	50
6	データベース	51
6.1	病名展開マスタ	51
6.1.1.	ファイルフォーマット	51
6.1.2.	一覧	51
6.1.3.	ファイルサイズ一覧	52
6.2	病名展開マスタ詳細	52
6.2.1.	病名 Index	52
6.2.2.	修飾語 Index	53
6.2.3.	キーワード Index	53
6.2.4.	病名階層関係 Index テーブル	54
6.2.5.	修飾語階層関係 Index テーブル	54
6.2.6.	病名詳細	54
6.2.7.	修飾語詳細	55
6.2.8.	キーワード詳細	56
6.2.9.	修飾語区分	56
6.2.10.	類似病名	57
7	データ構造	58
7.1	データ構造一覧	58
7.2	データ構造図	58
7.3	メモリ上に展開するデータのサイズ	58
7.4	構成	59
7.4.1.	病名 Index	59
7.4.2.	修飾語 Index	59
7.4.3.	キーワード Index	59
7.4.4.	修飾語区分	59
7.4.5.	その他	60

8	メッセージ	61
8.1	記述形式	61
8.2	メッセージ ID.....	61
8.3	アプリケーション	62
9	アプリケーション	63
9.1	画面展開	63
9.2	動作環境	64
9.3	UNDO 機能.....	64
9.4	メインウィンドウ	65
9.4.1.	構成.....	65
9.4.2.	病名タブビュー	66
9.4.3.	病名ツリー検索	67
9.4.4.	病名キーワード検索.....	69
9.4.5.	修飾語タブビュー.....	74
9.4.6.	良く使う修飾語	76
9.4.7.	修飾語部位検索.....	78
9.4.8.	修飾語キーワード検索.....	79
9.4.9.	修飾語ツリー検索.....	81
9.4.10.	類似病名エリア.....	83
9.4.11.	病名表示パネル.....	84
9.4.12.	基本修飾語パネル.....	84
9.4.13.	その他	85
10	INI ファイル	88
10.1	記述形式	88
10.2	属性一覧	88
11	改訂履歴	90

1 はじめに

1.1 本ドキュメントについて

本書は「病名検索システム Java 版」の基本設計を記述したものである。

2 開発・動作環境

2.1 動作環境

本システムは、下記の環境でスタンドアロンシステムとして、動作するものとする。

OS	備考
Microsoft Windows 2000 + SP2	Professional 版でのみ動作確認を行う。

CPU、メモリに関しては、上記 OS が快適に動作するマシンであればどのようなスペックでもかまわない。

HDD の空きスペースは病名情報データを除いて最大でも 10MB あれば十分。

2.2 開発言語、開発環境

本システムの開発言語、開発環境として以下のものを使用する。

開発環境	備考
J2SDK, Standard Edition 1.3.1	病名検索 JavaBeans、病名 DB アクセス基本ライブラリを作成する。

本システムのプログラム、ライブラリ等は無償で再配布可能なこととする。

2.3 性能要件

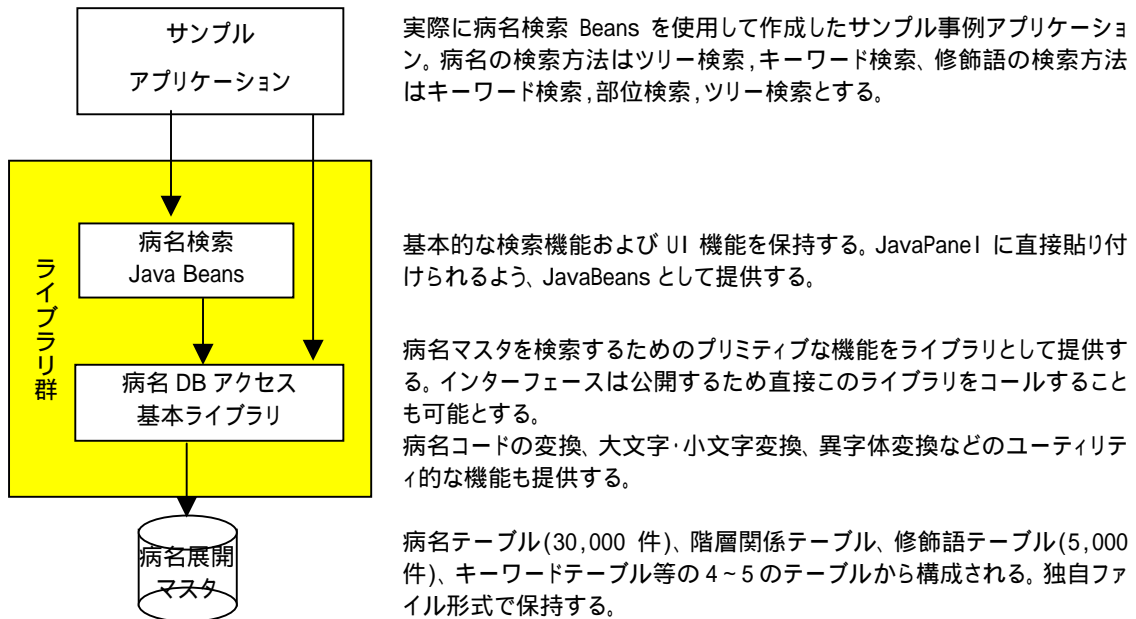
検索速度: 1~2 秒(OS: Windows 2000 CPU: PentiumII 300Mhz メインメモリ: 128MB)

ただし、病名の自由検索においてはこの限りではない。

3 機能概要

3.1 プログラム構成

今回、開発するソフトの基本部分は各病院で病院情報システムに組み込むときに使用できるよう、ライブラリ群として提供する。



3.2 表記

本ドキュメントでは以下の表記を使用する。

病名 ID: 病名(分類)の階層項目区分 + 病名(分類)の階層項目 ID

病名パス: 病名 ID の階層構造を表したパスのこと。「¥病名 ID¥病名 ID + ...」

修飾語 ID: 修飾語(分類)の階層項目区分 + 修飾語(分類)の階層項目 ID

修飾語パス: 修飾語 ID の階層構造を表したパスのこと。「¥修飾語 ID¥修飾語 ID + ...」

4 病名 DB アクセス基本ライブラリ

病名展開マスタから DB ファイルを読み込む、検索を実施する等、病名検索に必要な基本機能を提供する。

本項では、標準的な使用方法に関する記述と、他のアプリケーション、または病名検索 JavaBeans とのインターフェース部分に関して記述する。

4.1 使用方法

本ライブラリはアプリケーション内で唯一のオブジェクトとして存在していなければならない。唯一のオブジェクトにしなくても検索などは行えるが、DB ファイル情報を大量にメモリ上に展開するので複数の基本ライブラリを保持することは現実的ではない。

また病名検索を行う前に必ず初期化を行わなければならない。

```
BasicDBAccess basicDBAccess = new BasicDBAccess();      オブジェクトの作成
basicDBAccess .Initialize(病名 Index, 修飾語 Index, キーワード Index, 階層関係 Index,
                          病名詳細, 修飾語詳細, キーワード詳細, 修飾語区分, 類似病名)
```

4.2 インターフェース一覧

各アプリケーション、および病名検索 JavaBeans とのインターフェースの一覧を記述する。

基本インターフェース

基本インターフェースは初期化を行わない限り使用することはできない。

項番	インターフェース名	概要
1	初期化	DB ファイルの読み込み、病名、修飾語のツリー構築等、検索に必要な初期化を行う。 初期化時に全ての病名展開マスタファイルのバージョンをチェックし、1つでも異なっていたらエラーを返す。
2	病名ノードリスト取得	指定された病名直下のノードリストを取得する。 兄弟ノードはマスタ展開時に展開ツールによって階層関係テーブルの表示順によって昇順ソートされる。
3	病名キーワード検索	病名キーワード検索を実行する。 同義語区分、キーワードで昇順ソートされたものが検索結果として取得できる。
4	類似病名情報検索	指定した病名 ID の類似病名情報を取得する。 病名表記カナの 50 音順でソートされたものが検索結果として取得できる。
5	良く使う修飾語検索	指定された病名で良く使う修飾語の一覧を取得する。 修飾語表記カナの 50 音順でソートされたものが検索結果として取得できる。
6	接続修飾語区分取得	接続修飾語区分項目を取得する。 接続修飾語区分コードにより昇順ソートされたものが取得できる。

項番	インターフェース名	概要
7	修飾語区分検索	修飾語区分検索を実行する。 修飾語表記カナの50音順でソートされたものが検索結果として取得できる。
8	修飾語キーワード検索	前方一致で修飾語キーワード検索を実行する。 同義語区分、キーワードで昇順ソートされたものが検索結果として取得できる。
9	修飾語ノードリスト取得	修飾語のノードリストを取得する。 兄弟ノードはマスタ展開時に展開ツールによって階層関係テーブルの表示順によって昇順ソートされる。
10	修飾語ジャンプドロップダウン項目取得	修飾語ジャンプ情報を取得する。 病名に対して設定可能な情報は1個だけなので1情報しか取得できない。(修飾語ジャンプ情報カラムの値は修飾語パス情報)
11	病名詳細情報取得	指定された病名 ID の病名情報詳細を取得する。
12	病名交換用コード正規化	病名コード変換メソッドを使用して正規化を行う。
13	修飾語詳細情報取得	指定された修飾語 ID の修飾語詳細情報を取得する。
14	修飾語排他チェック	修飾語グループコード排他チェック
15	キーワード詳細情報取得	指定されたキーワードのキーワード詳細情報を取得する。
16	病名交換用コードに対応するキーワードの一覧検索	病名交換用コードを元に、キーワードを検索し、対応用語コード、病名修飾語区分が一致するキーワードを全て検索結果として返す。
17	修飾語コードに対応するキーワードの一覧検索	修飾語コードを元に、キーワードを検索し、対応用語コード、病名修飾語区分が一致するキーワードを全て検索結果として返す。

ユーティリティ的なインターフェース

ユーティリティ的なインターフェースが初期化を行わなくても使用できる。

項番	インターフェース名	概要
1	病名パス合成	指定された病名 ID を病名パスに追加する。
2	病名パス分解	指定された病名パスから末端病名 ID を取得する。 引数で渡された病名パスは、末端の病名 ID を除いた状態で再設定される。
3	修飾語ソート	引数で渡された修飾語リストをソートする。
4	基本修飾語コード取得	指定された基本修飾語の修飾語コードを返す。
5	ファイルバージョン取得	引数で渡されたファイルのバージョンを返す。
6	大文字小文字変換	半角アルファベット(A-Z)を大文字から小文字へ変換する。 半角アルファベット(a-z)を小文字から大文字へ変換する。
7	全角半角変換	全角英数字、全角カナを半角へ変換する。 半角英数字、半角カナを全角へ変換する。
8	ハイフン変換	以下のハイフンを「ー」に変換する。 「-」 「-」 「 ー」
9	異体字変換	字体の異なるものを任意の字体に統一する。 例)くびに対する統一語を「頸」とした場合 「頸椎骨折」「頸椎骨折」に変換して返す。
10	修飾語パス取得	指定された修飾語 ID により修飾語パスを返す。
11	基本修飾語 ID 取得	指定された基本修飾語の修飾語 ID を返す。
12	平仮名片仮名変換	平仮名を全角片仮名に変換する。 全角片仮名を平仮名に変換する。

4.3 エラー処理

本ライブラリ内で起こったエラーは自動的に通知されるわけではない。

各アプリケーションまたは病名検索 Beans が本ライブラリを呼び出した後、ライブラリの戻り値でエラーが発生したかどうかをチェックする必要がある。エラーが発生していた場合、アプリケーション側で ID からメッセージへのマッピングを行い、エラーダイアログを表示しなければならない。(JavaBeans もエラーダイアログを表示することはしない。)

4.4 インターフェース仕様

各インターフェースは、0(正常終了)、またはその他のエラーコード(失敗)のどちらかを戻り値として返す。

4.4.1. 初期化

メソッド名: initialize

項番	引数	型	I/O	概要
1	病名 Index	String	I	病名 Index ファイル名
2	修飾語 Index	String	I	修飾語 Index ファイル名
3	キーワード Index	String	I	キーワード Index ファイル名
4	病名階層関係 Index	String	I	病名階層関係 Index ファイル名
5	修飾語階層関係 Index	String	I	修飾語階層関係 Index ファイル名
6	病名詳細	String	I	病名詳細ファイル名
7	修飾語詳細	String	I	修飾語詳細ファイル名
8	キーワード詳細	String	I	キーワード詳細ファイル名
9	修飾語区分	String	I	修飾語区分ファイル名
10	類似病名	String	I	類似病名ファイル名

ファイル名は全てフルパス

4.4.2. 病名ノードリスト取得

メソッド名: getDiseaseNode

項番	引数	型	I/O	引数説明
1	範囲(検索区分)	int	I	1: 全て 2: 良く使う病名
2	病名パス	String	I	検索対象病名パス ブランクの場合、「全体」直下のノード検索が実行される。
3	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultDiseaseNode のリストが設定される。

4.4.3. 病名キーワード検索

メソッド名: searchDiseaseKeyword

項番	引数	型	I/O	引数説明
1	範囲(検索区分)	int	I	1: 全て 2: 良く使う病名
2	病名パス	String	I	検索範囲を指定された病名パス以下とする。 ブランクの場合、「全体」以下の病名全てが対象となる。
3	キーワード	String	I	検索対象キーワード ブランクの場合、全件検索となる。
4	同義語区分	String	I	同義語区分の範囲を表示される文字列
5	検索種別	int	I	1: 完全一致 2: 前方一致 3: 後方一致 4: 部分一致

項番	引数	型	I / O	引数説明
6	最大検索件数	int	I	1回の検索で取得するデータの最大件数 -1の場合、全件検索
7	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultDisease のリストが設定される。
8	推奨	Wrapper	O	True:推奨される False:推奨されない
9	件数超	Wrapper	O	True:検索結果が最大検索件数より多く見つかった。 False:最大検索件数以下だった。

4.4.4. 類似病名検索

メソッド名: searchResembleDisease

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	範囲(検索区分)	int	I	1:全て 2:良く使う病名
2	病名 ID	String	I	類似病名を検索する際の元となる病名 ID
3	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultDisease のリストが設定される。

4.4.5. 良く使う修飾語検索

メソッド名: searchConnectiveModifier

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象とする病名の病名 ID
2	修飾語区分	String	I	絞り込む階層
3	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultModifier のリストが設定される。

4.4.6. 接続修飾語区分取得

メソッド名: getConnectiveModifierCategory

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象とする病名の病名 ID
2	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultConnectiveModifier Category のリストが設定される。

4.4.7. 修飾語区分検索

メソッド名: searchPartModifier

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語区分	String	I	修飾語区分
2	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultModifier のリストが設定される。

4.4.8. 修飾語キーワード検索

メソッド名: searchModifierKeyword

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	キーワード	String	I	検索対象キーワード ブランクの場合、全件検索となる。
2	同義語区分	String	I	同義語区分の範囲を表示される文字列
3	検索種別	int	I	1:完全一致 2:前方一致 3:後方一致 4:部分一致
4	最大検索件数	int	I	1回の検索で取得するデータの最大件数 -1の場合、全件検索
5	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultModifier のリストが設定される。
6	推奨	Wrapper	O	True:推奨される False:推奨されない
7	件数超	Wrapper	O	True:検索結果が最大検索件数より多く見つかった。 False:最大検索件数以下だった。

4.4.9. 修飾語ノードリスト取得

メソッド名: getModifierNode

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語パス	String	I	検索対象修飾語パス ブランクの場合、「全体」直下のノード検索が実行される。
2	修飾語ID	String	I	検索対象とする修飾語ID (修飾語パスと修飾語IDは排他利用とする。利用しない側はブランクまたはNullとする)
3	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultModifier のリストが設定される。

4.4.10. 修飾語ジャンプドロップダウン項目取得

メソッド名: getModifierJumpItem

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象病名 ID
2	検索結果	ResultModifier JumpItem	O	検索結果が設定される。

4.4.11. 病名詳細情報取得

メソッド名: getDiseaseDetail

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象病名 ID
2	病名詳細	DiseaseDetail	O	病名詳細情報が設定される。

4.4.12. 病名交換用コード正規化

メソッド名: getNormalzationDiseaseCode

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象病名 ID
2	修飾語 ID	ArrayList	I	修飾語 ID リスト
3	修飾語個数	int	I	修飾語の個数
4	正規化された病名交換用コード	StringBuffer	O	正規化された病名交換用コードが設定される。
5	病名 ID	StringBuffer	O	病名 ID
6	修飾語 ID	ArrayList	O	正規化後の修飾語 ID リスト
7	修飾語個数	Wrapper	O	修飾語の個数

4.4.13. 修飾語詳細情報取得

メソッド名: getModifierDetail

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語 ID	String	I	取得対象修飾語 ID
2	修飾語詳細	ModifierDetail	O	修飾語詳細情報が設定される。

4.4.14. 修飾語排他チェック

メソッド名: checkExclusive

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語 ID	String	I	チェック対象修飾語 ID
2	修飾語 ID リスト	ArrayList	I	比較元修飾語 ID リスト
3	チェック結果	Wrapper	O	True: 排他でない False: 排他

4.4.15. キーワード詳細情報取得

メソッド名: getKeywordDetail

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	キーワード	String	I	取得対象キーワード
2	ID	String	I	病名 ID または修飾語 ID
3	キーワード詳細	KeywordDetail	O	キーワード詳細情報が設定される。

4.4.16. 病名交換用コードに対応するキーワードの一覧検索

メソッド名: searchExchangeCodeKeyword

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名交換用コード	String	I	病名の交換用コード
2	検索結果リスト	ArrayList	O	結果クラス ResultKeyword のリストが設定される。

4.4.17. 修飾語コードに対応するキーワードの一覧検索

メソッド名: searchModifierCodeKeyword

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語コード	String	I	修飾語コード

項番	引数	型	I / O	引数説明
2	検索結果リスト	ArrayList	○	結果クラス ResultKeyword のリストが設定される。

4.4.18. 病名パス合成

メソッド名 : addDiseasePath

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	追加する病名 ID
2	病名パス	StringBuffer	I / O	追加元の病名パス

4.4.19. 病名パス分解

メソッド名 : decomposeDiseasePath

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名パス	StringBuffer	I / O	病名パス
2	病名 ID	StringBuffer	○	末端の病名 ID

4.4.20. 修飾語ソート

メソッド名 : sortModifierCode

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	ソート前修飾語リスト	ArrayList	I	ソート前の ModifierBeforeSort クラスリスト
2	ソート後修飾語コードリスト	ArrayList	○	ソート後の修飾語コードリスト

4.4.21. 基本修飾語コード取得

メソッド名 : getBasicModifierCode

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語	String	I	修飾語 (“右”、“左”、“両”)
2	修飾語コード	StringBuffer	○	修飾語コード

4.4.22. ファイルバージョン取得

メソッド名 : getFileVersion

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	ファイル名	String	I	フルパスのファイル名
2	バージョン	StringBuffer	○	バージョン情報

4.4.23. 大文字小文字変換

メソッド名 : convertUpperLower

項番	引数	型	I / O	概要
1	変換タイプ	int	I	1: 小文字へ変換 2: 大文字へ変換 3: 単語の先頭文字のみ大文字へ変換 それ以外は小文字
2	変換元文字列	String	I	変換元文字列

項番	引数	型	I / O	概要
3	変換後文字列	StringBuffer	O	変換後文字列

4.4.24. 全角半角変換

メソッド名 : convertDoubleSingleWord

項番	引数	型	I / O	概要
1	カナ変換タイプ	int	I	1:半角へ変換 2:全角へ変換
2	英数字変換タイプ	int	I	1:半角へ変換 2:全角へ変換
3	変換元文字列	String	I	変換元文字列
4	変換後文字列	StringBuffer	O	変換後文字列

4.4.25. ハイフン変換

メソッド名 : convertHyphen

項番	引数	型	I / O	概要
1	変換元文字列	String	I	変換元文字列
2	変換後文字列	StringBuffer	O	変換後文字列

4.4.26. 異体字変換

メソッド名 : convertWord

項番	引数	型	I / O	概要
1	変換元文字列	String	I	変換元文字列
2	変換後文字列	StringBuffer	O	変換後文字列

4.4.27. 修飾語パス取得

メソッド名 : getModifierPath

項番	引数	型	I / O	概要
1	修飾語 ID	String	I	修飾語 ID
2	修飾語パス	StringBuffer	O	取得したパス

4.4.28. 基本修飾語 ID 取得

メソッド名 : getBasicModifierID

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語	String	I	修飾語 (“右”、“左”、“両”)
2	修飾語 ID	StringBuffer	O	基本修飾語 ID

4.4.29. 平仮名片仮名変換

メソッド名 : convertHiraKata

項番	引数	型	I / O	概要
1	変換タイプ	int	I	1:片仮名への変換 2:平仮名への変換

項番	引数	型	I/O	概要
2	変換元文字列	String	I	変換元文字列
3	変換後文字列	StringBuffer	O	変換後文字列

4.5 引数クラス一覧

引数クラスのメンバーにアクセスできるため、取得または指定のメソッド `getxxxx()` と `setxxxx()` を使用する。
(boolean 型の場合、メソッド `isxxxx()` と `setxxxx()` を使用する)

4.5.1. Wrapper

	データ	データ型	備考
1	返す値を保持するデータ	Object	Integer 型: <code>getInt()</code> 、 <code>setInt()</code> Boolean 型: <code>getBool()</code> 、 <code>setBool()</code>

4.5.2. ModifierBeforeSort

	データ	データ型	備考
1	修飾語コード	String	
2	接続位置区分	String	

4.6 結果クラス一覧

結果クラスのプロパティにアクセスするためのメソッド `getxxxx()` と `setxxxx()` を使用する。(boolean 型の場合、`isxxxx()` と `setxxxx()` を使用する)

4.6.1. ResultDiseaseNode

	データ	データ型	備考
1	病名 ID	String	
2	病名表記	String	
3	病名表記カナ	String	
4	採択区分	String	
5	病名パス	String	
6	最下層	boolean	true: 最下層のノード false: 下位階層あり

4.6.2. ResultDisease

	データ	データ型	備考
1	病名 ID	String	
2	病名表記	String	
3	病名表記カナ	String	
4	採択区分	String	

5	同義語区分	String	
6	キーワード	String	
7	病名パス	String	

4.6.3. ResultModifierNode

	データ	データ型	備考
1	修飾語 ID	String	
2	修飾語表記	String	
3	修飾語表記カナ	String	
4	修飾語パス	String	
5	最下層	boolean	true: 最下層のノード false: 下位階層あり

4.6.4. ResultModifier

	データ	データ型	備考
1	修飾語 ID	String	
2	修飾語表記	String	
3	修飾語表記カナ	String	
4	同義語区分	String	
5	キーワード	String	

4.6.5. ResultConnectiveModifierCategory

	データ	データ型	備考
1	接続修飾語区分	String	
2	区分名称	String	

4.6.6. ResultModifierJumpItem

	データ	データ型	備考
1	修飾語ジャンプ情報	String	
2	修飾語区分コード	String	
3	名称	String	

4.6.7. ResultKeyword

	データ	データ型	備考
1	キーワード	String	
2	対応用語コード	String	
3	同義語区分	String	

4.6.8. DiseaseDetail

病名展開マスタ - 病名詳細ファイルと同じ。

4.6.9. ModifierDetail

病名展開マスタ - 修飾語詳細ファイルと同じ。

4.6.10. KeywordDetail

病名展開マスタ - キーワード詳細ファイルと同じ。

4.6.11. ResultDiseaseNodeList

ResultDiseaseNode クラスのリスト

4.6.12. ResultDiseaseList

ResultDisease クラスのリスト

4.6.13. ResultModifierNodeList

ResultModifierNode クラスのリスト

4.6.14. ResultModifierList

ResultModifier クラスのリスト

4.6.15. ResultKeywordList

ResultKeyword クラスのリスト

5 病名検索 Java Beans

5.1 使用方法

各 JavaBeans コントロールは、表示処理機能だけを持っており、検索は基本ライブラリを使用する。そのため各コントロールへ初期化した基本ライブラリオブジェクトを渡す必要がある。また各コントロールは単独で動作するため、他の JavaBeans コントロールとの連携を行う必要がある場合、各アプリケーション自身がその処理を担わなければならない。

例) 病名検索 JavaBeans の病名パネルコントロール、病名ツリー検索コントロールを使用して検索画面を作成した場合

基本ライブラリの初期化(各アプリケーション側の処理)

病名パネルコントロールへ基本ライブラリオブジェクトを渡す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールへ基本ライブラリオブジェクトを渡す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールの検索実行メソッドを呼び出す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールは渡された基本ライブラリを使用して検索実行しツリーを表示する。

アプリケーションの「選択」ボタン押下により、病名ツリー検索コントロールから選択されている病名交換用コードを取得し、病名パネルコントロールへ取得した病名交換用コードを渡す。(各アプリケーション側の処理。修飾語も同様)

病名パネルコントロールは渡された病名交換用コードと渡された基本ライブラリを使用して正規化処理を行い、病名、病名交換用コード(正規化前、正規化後)、ICD - 10コード、およびレセ電算コードを表示する。

5.2 JavaBeans コントロール一覧

本システムで作成する JavaBeans コントロール一覧を記述する。

項番	コントロール	Control 名	概要
1	病名ツリー検索ビュー	DiseaseTreeSearchView	病名ツリー検索結果をツリー表示する。
2	病名キーワード検索ビュー	DiseaseKeywordSearchView	病名キーワード検索結果をリスト表示する。
3	病名自由検索ビュー	DiseaseFreeSearchView	病名自由検索結果をリスト表示する。
4	類似病名検索ビュー	DiseaseResembleSearchView	類似病名検索結果をリスト表示する。
5	病名パネル	DiseasePanel	選択された病名および修飾語をリスト表示する。
6	修飾語ツリー検索ビュー	ModifierTreeSearchView	修飾語ツリー検索結果をリスト表示する。
7	修飾語キーワード検索ビュー	ModifierKeywordSearchView	修飾語キーワード検索結果をリスト表示する。

項番	コントロール	Control 名	概要
8	部位修飾語検索ビュー	PartModifierSearchView	部位修飾語部位画像の表示、検索結果をリスト表示する。
9	良く使う修飾語ビュー	ConnectiveModifierSearchView	良く使う修飾語の検索結果をリスト表示する。
10	基本修飾語パネル	BasicModifierPanel	基本修飾語を選択するボタンを表示する。

5.3 エラー処理

基本ライブラリ内で起こったエラーは自動的に通知されるわけでない。各 JavaBeans は基本ライブラリを呼び出した後、基本ライブラリのメソッドの戻り値でエラーが発生したかどうかをチェックする。チェックしエラーが発生していた場合、処理を中止する。

また JavaBeans コントロール内で行ったエラーも自動的に通知されるわけではないので、アプリケーション側で JavaBeans コントロールのメソッド自身の戻り値をエラーメッセージ ID とする。

各コントロールのメソッドは、0(正常終了)、またはその他のエラーコード(失敗)のどちらかを戻り値として返す。

5.4 イベント処理

イベント処理に記載する項目は、本 JavaBeans コントロールを使用する各アプリケーションが拾う必要のあるイベント、ユーザの操作により発生するイベントののみ記述する。各 JavaBeans コントロールが内部的に拾う必要のあるイベントは詳細設計書に記述する。

5.5 プロパティの取得、指定処理。

各 JavaBeans のプロパティにアクセスするために `getxxxx()` と `setxxxx()` メソッドを使用する。(boolean 型の場合、`isxxxx()`と `setxxxx()`を使用する)

5.6 フォントサイズ

各 JavaBeans コントロールのフォントサイズは MS ゴシック、12Point、標準スタイルを基準として作成する。(以降基本フォントタイプとする。)

そのため各 JavaBeans コントロールのプロパティの設定では Font の情報を開発者が変更できるがフォントサイズを変更した場合、その JavaBeans コントロールの幅、または高さが変更できないものもあるため文字が切れてしまうコントロールがあるため、フォントサイズはできるだけ変更しない方が望ましい。

5.6.1. スタイル一覧

タイプ	スタイル
基本フォントタイプ	MS ゴシック 12Point 標準スタイル

タイプ	スタイル
強調フォントタイプ	MS ゴシック 12Point 太字スタイル

5.7 共通プロパティ

各 JavaBeans コントロールは以下のプロパティを持つ。

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内での プロパティ名	型	規定値
備考				
1	xxxxForeColor	foreground	Color	システム設定
	コントロールの ForeColor TreeView、Image、CommandButton は設定不可			
2	xxxxBackColor	background	Color	システム設定
	コントロールの BackColor TreeView、Image、CommandButton は設定不可			
3	xxxxFont	font	Font	ラベル: 強調フォントタイプ その他: 標準フォントタイプ
	コントロールの Font 設定 Image は設定不可			

xxxx は JavaBeans 各コントロールの名称

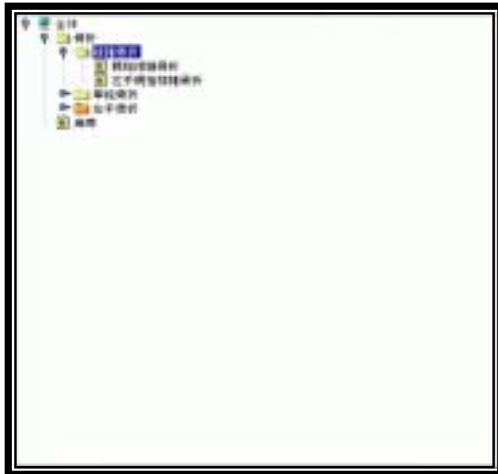
5.8 動作環境

JavaBeans コントロールは以下の環境で正しく動作するように作成する。

1	画面の色	High Color (16bit)
2	画面のフォントサイズ	小さいフォント
3	スクロールバー	16
4	アクティブウィンドウの境界	1

5.9 病名ツリー検索ビュー

5.9.1. コントロール構成



5.9.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JScrollPane	スクロール可能に使用
2	JTree	ツリー表示に使用

5.9.3. プロパティ一覧

特に明記しない限り設定、取得と指定の両方が可能

UI 系

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内での プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	treeView Appearance	border	int	0 (Etched)
	コントロールの描画スタイル設定			
2	treeViewMousePointer	cursor	int	0 (DEFAULT_CURSOR)
	TreeView 内でのマウスカーソル形状			
3	treeViewImageList		Object	null
	TreeView に表示するアイコンリストを持つオブジェクト Null の場合、アイコンはツリーに表示しない。			
4	treeViewSingleSel	toggleClickCount	boolean	false
	選択時に項目を展開するかどうかを指定する値 true: 展開する false: 展開しない			
5	treeViewHideSelection		boolean	true

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 true: 自動解除する false: 自動解除しない			
6	treeViewScroll		boolean	false
	スクロールバーを表示するかどうかを指定する値 true: 表示する false: 表示しない			
7	treeViewCheckBoxes		boolean	false
	チェックボックスを表示するかどうかを指定する値 true: チェックボックスを付加する false: 付加しない			
8	treeViewLineStyle		int	0 (Angled)
	Node オブジェクト間をつなぐ線のスタイル			
9	basicDBAccess		Object	null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	検索範囲	prIntLimit	int	1(レベル1検索)
	検索範囲を設定する。 0: レベル2検索 1: レベル1検索			
2	病名パス	prStrDiseaseResultPath	String	
	現在セレクションされている病名パスを返す。(取得のみ) 未選択時は空白を返す。			
3	病名区別文字列	prStrDiseaseWord	String	"<;>"
	病名を区別して表示する場合に、病名の前後に付加する文字列を設定 前後を「;(半角セミコロン)」で区切って設定する。			
4	分類項目区別文字列	prStrClassificationWord	String	"[:]"
	分類項目を区別して表示する場合に、分類項目の前後に付加する文字列を設定 前後を「;(半角セミコロン)」で区切って設定する。			
5	病名 / 分類項目区別	prIntDistinction	int	0
	病名 / 分類項目を区別するスタイル スタイル 0: 分類項目を分類項目区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 1: 病名を病名区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 2: 分類項目を分類項目区別文字列プロパティの値で囲み、病名を病名区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 3: 文字色で区別する。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティを使用する。) 9: 区別しない。			
6	病名区別色	prIntDiseaseColor	int	黒
	病名の文字色			
7	分類項目区別色	prIntClassificationColor	int	黒
	分類項目の文字色			

5.9.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	treeViewSearch	検索範囲 病名パス	int String	
	ツリー検索を実行する。			
2	setDiseasePath	病名パス	String	
	指定された病名パスを現在対象の病名とする。 このメソッドを呼び出した場合、自動的にツリーの再表示も行われる。 病名パスプロパティに値を設定する。 病名パスの末端を選択状態とし、末端の子ノードレベルまでのツリーを表示する。			
3	setParentDiseasePath	病名パス	String	
	指定された病名パスの親を現在対象の病名とする。 このメソッドを呼び出した場合、自動的にツリーの再表示も行われる。 病名パスプロパティに値を設定する。 病名パスの末端を1つ上の親を選択状態とし、選択された病名の子ノードレベルまでのツリーを表示する。			

5.9.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリがイベントを拾えるか
1	dblClick			
	ノードを展開したり、閉じたりする。			
2	click			
	選択されたノードをセレクション状態にする。			
3	selectionChange			
	新しいアイテムをセレクション状態にする。			

5.9.6. 初期状態

「全体」だけ表示する。

5.9.7. アイコン表示

本 JavaBeans コントロールはツリーにアイコンを表示することが可能である。アイコンが必要な場合、本 JavaBeans コントロールに使用するアイコンを登録した ImageIcon オブジェクトを渡す必要がある。ImageIcon オブジェクトを渡さなかった場合、アイコンは表示されない。

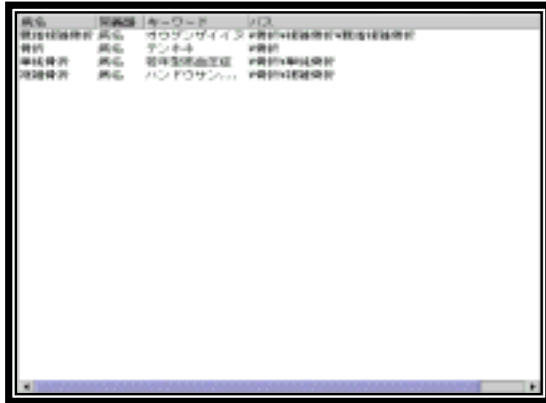
また、アイコン自体は何でもかまわないがアイコン ID はシステム側で規定しているため、それに合わせて Image List にアイコンを登録する必要がある。

ID	状態	備考
1	トップ	ツリーのトップ
2	閉じた状態(採択区分 = 1)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態(採択区分 = 1)

3	閉じた状態(採択区分 = 2)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態(採択区分 = 2)
4	閉じた状態(採択区分 = 3)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態(採択区分 = 3)
5	閉じた状態(分類項目)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態(分類項目)
6	開いた状態(採択区分 = 1)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態(採択区分 = 1)
7	開いた状態(採択区分 = 2)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態(採択区分 = 2)
8	開いた状態(採択区分 = 3)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態(採択区分 = 3)
9	開いた状態(分類項目)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態(分類項目)
10	最下層(採択区分 = 1)	採択区分 = 1の子ノードが無い最下層の病名
11	最下層(採択区分 = 2)	採択区分 = 2の子ノードが無い最下層の病名
12	最下層(採択区分 = 3)	採択区分 = 3の子ノードが無い最下層の病名
13	最下層(分類項目)	子ノードが無い最下層の分類項目

5.10 病名キーワード検索ビュー

5.10.1. コントロール構成



5.10.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JScrollPane	スクロール可能に使用
2	JTable	リスト表示に使用

5.10.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
1	listViewAllowColumnReorder	reorderingAllowed	boolean	false
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 true: 許可する false: 許可しない			
2	listViewAppearance	border	int	0 (Etched)
	コントロールの描画スタイルを設定			
3	listViewFullRowSelect	rowSelectionAllowed	boolean	false
	行全体を選択するかどうかを指定する値 true: 選択する false: 選択しない			
4	listViewGridLines		boolean	false
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 true: 表示する false: 表示しない			
5	listViewHideColumnHeaders	preferredSize	boolean	false
	示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 true: 表示しない false: 表示する			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
6	listViewHideSelection		boolean	True
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 true: 自動解除する false: 自動解除しない			
7	listViewMousePointer	cursor	int	0 (DEFAULT_CURSOR)
	Table 内でのマウスカーソル形状			
8	listViewMultiSelect		boolean	false
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 true: 選択可能 false: 選択不可			
9	listViewListItem		int	3 (Detail)
	Table の表示形式を設定			
10	basicDBAccess		Object	null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	検索キーワード	prStrKeyWord	String	
	検索条件に付加するキーワード値			
2	検索対象病名パス	prStrDiseasePath	String	
	検索範囲指定する病名パス 病名パスを設定すると自動的に検索が実行され、リストが表示される。			
3	選択病名パス	prStrDiseaseResultPath	String	
	セレクションされた病名のパスが設定される。			
4	検索範囲	prIntLimit	int	1(レベル1検索)
	検索範囲を設定する。 0: レベル2検索 1: レベル1検索			
5	検索方法	prSearchType	int	2(前方一致)
	検索方法 2: 前方一致検索 3: 後方一致検索			
6	最大検索件数	prIntMaxSearch	int	50
	最大検索件数			
7	推奨	prBolCommend	boolean	true
	推奨フラグ(値の取得のみ可) true: 推奨される false: 推奨されない			

5.10.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
		備考		
1	listViewSearch	検索範囲 検索方法 キーワード 同義語区分 パス 最大検索件数	int String String String String int	
	リスト検索を実行する。			
2	clear			
	リスト表示をクリアする。			

5.10.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
		備考		
				アプリがイベントを拾えるか
1	click			
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	dblClick			
	処理なし。			
3	selectionChange			
	新しいアイテムをセレクション状態にする。			

5.10.6. 初期状態

何も表示しない。

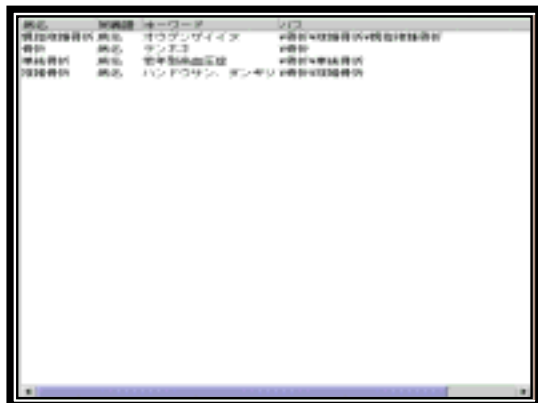
5.10.7. 同義語区分

リストには同義語を表示するが、検索結果として得られるものは同義語区分である。本コントロールは同義語区分から同義語へのマッピング処理を行う。

同義語区分	表示名称
0	病名
1	同義語
2	類似語
3	部分語

5.11 病名自由検索ビュー

5.11.1. コントロール構成



5.11.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JScrollPane	スクロール可能に使用
2	JTable	リスト表示に使用

5.11.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
1	listViewAllowColumnReorder	reorderingAllowed	boolean	false
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 true: 許可する false: 許可しない			
2	listViewAppearance	border	int	0 (Etched)
	コントロールの描画スタイルを設定			
3	listViewFullRowSelect	rowSelectionAllowed	boolean	true
	行全体を選択するかどうかを指定する値 true: 選択する false: 選択しない			
4	listViewGridLines		boolean	false
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 true: 表示する false: 表示しない			
5	listViewHideColumnHeaders	preferredSize	boolean	false
	示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 true: 表示しない false: 表示する			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
6	listViewHideSelection		boolean	true
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 true: 自動解除する false: 自動解除しない			
7	listViewMousePointer	cursor	int	0 (DEFAULT_CURSOR)
	Table 内でのマウスカーソル形状			
8	listViewMultiSelect		boolean	false
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 true: 選択可能 false: 選択不可			
9	listViewListItem		int	3 (Detail)
	Table の表示形式を設定			
10	basicDBAccess		Object	null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	検索キーワード	prStrKeyWord	String	
	検索条件に付加するキーワード値 キーワードが設定されると自動的に検索が実行され、リストが表示される。			
2	検索範囲	prIntLimit	int	1(レベル1検索)
	検索範囲を設定する。 0: レベル2検索 1: レベル1検索			
3	選択病名パス	prStrDiseaseResultPath	String	
	セレクションされた病名のパスが設定される。			
4	最大検索件数	prIntMaxSearch	int	50
	最大検索件数			
5	推奨	prBoICommend	boolean	true
	推奨フラグ(値の取得のみ可) true: 推奨される false: 推奨されない			

5.11.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
				備考
1	listViewSearch	検索範囲 検索方法 キーワード 同義語区分 パス 最大検索件数	int String String String String int	
				リスト検索を実行する。
2	clear			
				リスト表示をクリアする。

5.11.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
				備考
1	click			アプリがイベントを拾えるか
				選択されたリストをセレクション状態にする。
2	dblClick			
				なし
3	selectionChange			
				新しいアイテムをセレクション状態にする。

5.11.6. 初期状態

何も表示しない。

5.11.7. 同義語区分

リストには同義語を表示するが、検索結果として得られるものは同義語区分である。本コントロールは同義語区分から同義語へのマッピング処理を行う。

同義語区分	表示名称
0	病名
1	同義語
2	類似語
3	部分語

5.12 類似病名検索ビュー

5.12.1. コントロール構成



5.12.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JScrollPane	スクロール可能に使用
2	JTable	リスト表示に使用

5.12.3. プロパティ一覧

UI系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	searchDiseaseID		String	
	類似病名検索元となる病名 ID。値が設定されると自動的に検索が行われる。現在設定されている値と同一の場合は、検索は行われない。			
2	diseaseID		String	
	現在セレクションされている病名の病名 ID を取得する。(取得のみ) セレクションされていない場合、ブランクを返す。			
3	listViewAllowColumnReorder	reorderingAllowed	boolean	false
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 true: 許可する false: 許可しない			
4	listViewAppearance	border	int	0 (Etched)
	コントロールの描画スタイルを設定			
5	listViewFullRowSelect	rowSelectionAllowed	boolean	true
	行全体を選択するかどうかを指定する値 true: 選択する false: 選択しない			
6	listViewGridLines		boolean	false
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 true: 表示する false: 表示しない			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
7	listViewHideColumnHeaders	preferredSize	boolean	false
	示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 true: 表示しない false: 表示する			
8	listViewHideSelection		boolean	true
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 true: 自動解除する false: 自動解除しない			
9	listViewMousePointer	cursor	int	0 (DEFAULT_CURSOR)
	Table 内でのマウスカーソル形状			
10	listViewMultiSelect		boolean	false
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 true: 選択可能 false: 選択不可			
11	listViewListItem		int	3 (Detail)
	Table の表示形式を設定			
12	basicDBAccess		Object	null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	選択病名パス	prStrDiseaseResultPath	String	
	セレクションされた病名のパスが設定される。			
2	検索範囲	prIntLimit	int	1(レベル1検索)
	検索範囲を設定する。 0: レベル2検索 1: レベル1検索			

5.12.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	listViewSearch	検索範囲 類似対象病名 ID	String String	
	リスト検索を実行する。 検索実行時に引数としてキーワードを指定した場合、類似対象病名 ID プロパティ値は無視される。			
2	clear			
	リスト表示をクリアする。			

5.12.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			
1	click			アプリが拾えるイベントか

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	dblClick			
	なし			
3	selectionChange			
	新しいアイテムをセレクション状態にする。			

5.12.6. 初期状態

何も表示しない。

5.13 病名パネル

5.13.1. コントロール構成



5.13.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JPanel	パネル
2	JLabel	病名ラベル
3	JLabel	病名交換用コードラベル
4	JLabel	ICD10 ラベル
5	JLabel	レセ電算コードラベル
6	JTextField	修飾語、または病名表示に使用
7	JTextField	病名交換用コード値の表示に使用
8	JLabel	ICD10 コード値の表示に使用
9	JLabel	レセ電算コード値の表示に使用

5.13.3. プロパティ一覧

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内 でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	diseaseLabelCaption 病名ラベルのラベル名称(項番1のコントロール)	text	String	“病名”
2	diseaseLabelAllgnment ラベルの揃え位置(項番1のコントロール)	HorizontalAlignment	int	RIGHT
3	diseaseCodeLabelCaption 病名交換用コードラベルのラベル名称(項番2のコントロール)	text	String	“病名交換用コード”
4	diseaseCodeLabelAllgnment ラベルの揃え位置(項番2のコントロール)	HorizontalAlignment	int	RIGHT
5	iCD10LabelCaption ICD10 ラベルのラベル名称(項番3のコントロール)	text	String	“ICD10”
6	iCD10LabelAllgnment ラベルの揃え位置(項番3のコントロール)	HorizontalAlignment	int	RIGHT
7	reseLabelCaption レセ電算コードラベルのラベル名称(項番4のコントロール)	text	String	“レセ電算コード”
8	reseLabelAllgnment ラベルの揃え位置(項番4のコントロール)	HorizontalAlignment	int	RIGHT

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内 でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
9	diseaseCodeHide 病名交換用コードをラベルも含めて非表示にする。	visible	boolean	false
10	iCD10Hide ICD コードをラベルも含めて非表示にする。	visible	boolean	false
11	reseHide レセ電算コードをラベルも含めて非表示にする。	visible	boolean	false
12	basicDBAccess DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)		Object	null

5.13.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	addDisease	病名 ID	String	
	病名をパネルに設定する。 病名を設定すると現在登録されている修飾語は全てクリアされる。			
2	addModifier	修飾語 ID	String	
	修飾語を追加する。追加された修飾語はスタックされる。 スタックする前に排他チェックを実施し、エラーの場合スタックされない。			
3	deleteModifier			
	現在選択されている病名又は修飾語を削除する。			
4	getDiseaseValue	病名(Out)	String	
	病名の文字列を返す。			
5	getDiseaseCodeAfter	コード(Out)	String	
	置き換え後の病名交換用コード + 修飾語コードを返す。			
6	getDiseaseCodeBefore	コード(Out)	String	
	置き換え前の病名交換用コード + 修飾語コードを返す。			
7	getICD10	コード(Out)	String	
	ICD10 コードを返す。置き換え可能な場合は、置き換え後の ICD10 コードを返す。			
8	getReseCode	コード(Out)	String	
	レセ電算コードを返す。置き換え可能な場合は、置き換え後のレセ電算コードを返す。			
9	getSelection	ID(Out)	String	
	現在選択されている病名 ID または修飾語 ID を返す。			
10	getDiseaseID	病名 ID(Out)	String	
	現在設定されている病名の病名 ID を返す。			
11	getModifierIDs	修飾語 ID リスト(out)	String	
	現在設定されている修飾語 ID のリストを返す。			
12	createPanel			
	パネルの表示項目生成、および正規化を行う。			
13	clearAll			
	パネルの表示項目のクリアを行う。			

5.13.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
1	click			
	選択された修飾語の背景の色を変更する。他の修飾語の背景を元にもどす。			×
2	dblClick			
	選択された修飾語の背景の色を変更する。他の修飾語の背景を元にもどす。			×

5.13.6. 初期状態

何も表示しない。

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
5	listViewHideColumnHeaders	preferredSize	boolean	false
5	表示形式が詳細表示(Report)の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定			
6	Table 表示ルがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法を自動解除する false: 自動解除しない			
7	listViewMousePointer	cursor	int	0 (DEFAULT_CURSOR)
Table 内でのマウスカーソル形状				
8	listViewMultiSelect		boolean	false
複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 true: 選択可能 false: 選択不可				
9	listViewListItem		int	3 (Detail)
Table の表示形式を設定				
10	basicDBAccess		Object	null
DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)				

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
備考				
1	修飾語 ID	prStrModifierID	String	
現在セクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。(取得のみ) セクションされていない場合、ブランクを返す。				
2	病名 ID	prStrDiseaseID	String	
検索対象となる病名 ID このプロパティに値が設定されると、自動的にドロップダウン項目の検索が実行される。				

5.14.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
備考				
1	listViewSearch	病名 ID 修飾語区分	String String	
リスト検索を実行する。 ジャンプ情報ドロップダウンでジャンプ位置が指定されている場合、それを検索条件として付加する。				
2	createComboltems	病名ID	String	
コンボボックスの項目を作成する。				
	addComponent	コンポーネント	Component	
コンポーネントを追加する				

5.14.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
1	click (ListView)			
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	dblClick (ListView)			
	処理なし			
3	change (Combobox)			
	選択された修飾語区分以下の修飾語を検索する。			

5.14.6. 初期状態

何も表示しない。

5.14.7. ドロップダウン項目

病名 DB 基本アクセスの GetConnectiveModifierCategory の検索結果として受け取ったデータを元にドロップダウン項目を作成する。

検索結果の「名称」を検索結果の並び順でドロップダウン項目に設定する。設定方法は以下のとおり。なお、関連項目が存在しない場合は「(関連修飾語なし)」を表示する。

先頭項目

「(関連修飾語全て)」を設定する。

下4桁が「0000」のもの

全角スペース + 名称を設定する。

下2桁が「00」のもの

全角スペース + 全角スペース + 名称を設定する。

上記以外

全角スペース + 全角スペース + 全角スペース + 名称を設定する。

5.15 修飾語ツリー検索ビュー

5.15.1. コントロール構成



5.15.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JPanel	パネル
2	JTree	ツリー表示に使用
3	JComboBox	ジャンプ情報に使用 入力は不可、選択のみ
4	JLabel	ジャンプラベル ラベルの幅は自動設定

5.15.3. プロパティ一覧

特に明記しない限り設定、取得の両方が可能

UI系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
1	treeView Appearance	border	int	0 (Etched)
	コントロールの描画スタイル設定			
2	treeViewMousePointer	cursor	int	0 (DEFAULT_CURSOR)
	TreeView 内でのマウスカーソル形状			
3	treeViewImageList		Object	null
	TreeView に表示するアイコンリストを持つオブジェクト null の場合、アイコンはツリーに表示しない。			
4	treeViewSingleSel	toggleClickCount	boolean	false
	選択時に項目を展開するかどうかを指定する値 true: 展開する false: 展開しない			
5	treeViewHideSelection		boolean	true
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 true: 自動解除する false: 自動解除しない			

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内での プロパティ名	型	規定値
備考				
6	treeViewScroll		boolean	false
	スクロール バーを表示するかどうかを指定する値 true: 表示する false: 表示しない			
7	treeViewCheckBoxes		boolean	false
	チェック ボックスを表示するかどうかを指定する値 true: チェックボックスを付加する false: 付加しない			
8	treeViewLineStyle		int	0 (Angled)
	Node オブジェクト間をつなぐ線のスタイル			
9	jumpLabelCaption	text	String	“ジャンプ”
	Label コントロールラベル名			
10	basicDBAccess		Object	null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
備考				
1	修飾語パス	prStrModifierResultPath	String	
	現在セクションされている修飾語の修飾語パスを取得する。(取得のみ) セクションされていない場合、ブランクを返す。			
2	修飾語区別文字列	prStrDiseaseWord	String	“<>”
	修飾語を区別して表示する場合、修飾語の前後に付加する文字列を設定 前後を「;(半角セミコロン)」で区切って設定する。			
3	分類項目区別文字列	prStrClassificationWord	String	“[:]”
	分類項目を区別して表示する場合、分類項目の前後に付加する文字列を設定 前後を「;(半角セミコロン)」で区切って設定する。			
4	修飾語 / 分類項目区別	prIntDistinction	int	0
	修飾語 / 分類項目を区別するスタイル スタイル 0: 分類項目を分類項目区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 1: 修飾語を修飾語区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 2: 分類項目を分類項目区別文字列プロパティの値で囲み、修飾語を修飾語区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 3: 文字色で区別する。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティを使用する。) 9: 区別しない。			
5	修飾語区別色	prIntDiseaseColor	int	黒
	修飾語の文字色			
6	分類項目区別色	prIntClassificationColor	int	黒
	分類項目の文字色			
7	病名 ID	prDiseaseID	String	
	ジャンプドロップダウン項目取得時に使用する。値を設定すると自動的にジャンプ情報、ツリー項目を検索ノードに表示する。treeViewSearch の引数は必ず修飾語 ID を使用する。			

5.15.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	treeViewSearch	修飾語パス 修飾語 ID	String String	
	ツリー検索を実行する。 ジャンプ情報ドロップダウンでジャンプ位置が指定されている場合はその修飾語パス			
2	createComboltems	病名 ID	String	
	コンボボックスの項目を作成する。			
3	addComponent	コンポーネント	Component	
	コンポーネントを追加する			

5.15.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
1	click(ListView)			
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	dblClick(ListView)			
	ノードを展開したり、閉じたりする。			
3	change(Combobox)			
	選択された修飾語区分以下の修飾語ノードを検索する。			
4	selectionChange			
	新しいアイテムをセレクション状態にする。			

5.15.6. アイコン表示

本コントロールはツリーにアイコンを表示することが可能である。アイコンが必要な場合、本コントロールに使用するアイコンを登録した Image Icon オブジェクトを渡す必要がある。ImageIcon オブジェクトを渡さなかった場合、アイコンは表示されない。

また、アイコン自体は何でもかまわないがアイコン ID はシステム側で規定しているため、それに合わせて Image List にアイコンを登録する必要がある。

ID	状態	備考
1	トップ	ツリーのトップ
2	閉じた状態(修飾語)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態
3	閉じた状態(分類項目)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態
4	開いた状態(修飾語)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態
5	開いた状態(分類項目)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態
6	最下層(修飾語)	子ノードが無い最下層の修飾語
7	最下層(分類項目)	子ノードが無い最下層の分類項目

5.15.7. ドロップダウン項目

病名 DB 基本アクセスの GetModifierJumpltem の検索結果として受け取ったデータを元にドロップダウン項目を作成する。

検索結果の「名称」を検索結果の並び順でドロップダウン項目に設定する。設定方法は以下のとおり。(現在は 1 つしか検索結果は返ってこない。)

下 4 桁が「0000」のもの

そのまま名称を設定する。

下 2 桁が「00」のもの

全角スペース + 名称を設定する。

上記以外

全角スペース + 全角スペース + 名称を設定する。

5.16 修飾語キーワード検索ビュー

5.16.1. コントロール構成



5.16.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JScrollPane	スクロール可能に使用
2	JTable	リスト表示に使用

5.16.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
1	listViewAllowColumnReorder	reorderingAllowed	boolean	false
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 true: 許可する false: 許可しない			
2	listViewAppearance	border	int	0 (Etched)
	コントロールの描画スタイルを設定			
3	listViewFullRowSelect	rowSelectionAllowed	boolean	false
	行全体を選択するかどうかを指定する値 true: 選択する false: 選択しない			
4	listViewGridLines		boolean	false
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 true: 表示する false: 表示しない			
5	listViewHideColumnHeaders	preferSize	boolean	false
	示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 true: 表示しない false: 表示する			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
6	listViewHideSelection		boolean	true
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 true: 自動解除する false: 自動解除しない			
7	listViewMousePointer	cursor	Int	0 (DEFAULT_CURSOR)
	Table 内でのマウスカーソル形状			
8	listViewMultiSelect		boolean	false
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 true: 選択可能 false: 選択不可			
9	listViewListItem		int	3 (Detail)
	List の表示形式を設定			
10	basicDBAccess		Object	null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	検索キーワード	prStrKeyWord	String	
	検索条件に付加するキーワード値 キーワードが設定されると自動的に検索が実行され、リストが表示される。			
2	選択修飾語 ID	prStrModifierResultID	String	
	セレクションされた修飾語の修飾語の ID が設定される。(取得のみ可)			
3	最大検索件数	prIntMaxSearch	int	50
	最大検索件数			

5.16.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	listViewSearch	キーワード 同義語区分 検索種別 最大検索件数	String String int int	
	リスト検索を実行する。検索種別は必ず「2(前方一致)」とする。			
2	clear			
	リスト表示をクリアする。			

5.16.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			
1	click			
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	dblClick			×

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
	なし			×
3	selectionChange			
	新しいアイテムをセレクション状態にする。			

5.16.6. 初期表示

何も表示しない。

5.17 修飾語部位検索ビュー

5.17.1. コントロール構成



5.17.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JPanel	パネル
2	JLabel	部位画像表示に使用
3	JTable	リスト表示に使用

5.17.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	listViewAllowColumnReorder	reorderingAllowed	boolean	false
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 true: 許可する false: 許可しない			
2	listViewAppearance	border	int	0 (Etched)
	コントロールの描画スタイルを設定			
3	listViewFullRowSelect	rowSelectionAllowed	boolean	false
	行全体を選択するかどうかを指定する値 true: 選択する false: 選択しない			
3	listViewGridLines		boolean	false
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 true: 表示する false: 表示しない			
4	listViewHideColumnHeaders	preferSize	boolean	false
	表示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 true: 表示しない false: 表示する			

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内でのプロパ ティ名	型	規定値
	備考			
5	listViewHideSelection		boolean	true
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 true: 自動解除する false: 自動解除しない			
6	listViewMousePointer	cursor	int	0 (DEFAULT_CURSOR)
	List 内でのマウスカーソル形状			
7	listViewMultiSelect		boolean	false
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 true: 選択可能 false: 選択不可			
8	listViewListItem		int	3 (Detail)
	List の表示形式を設定			
9	imageHeight	height	int	詳細設計時に決定
	Image の高さ			
10	imageWidth	width	int	詳細設計時に決定
	Image の幅			
11	imagePicture	defaultIcon		
	Image に貼り付ける画像			
12	basicDBAccess		Object	null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	選択修飾語 ID	prStrModifierResultID	String	
	現在選択されている修飾語の修飾語 ID を取得する。(取得のみ) 選択されていない場合、ブランクを返す。			
2	選択部位	prStrConnective	String	
	現在選択されているエリアの部位区分を返す。(L,R,N のどれか)			

5.17.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	clear			
	イメージ、リストをクリア(初期化)する。			
2	setArea	L,R,N + 修飾語区分	String	
		頂点 1(x,y)	String	
		頂点 2(x,y)	String	
		頂点 3(x,y)	String	
		画像ファイル名	String	
エリア情報を設定する。設定情報はスタックされていく。 基本画像は ImagePicture プロパティに設定する。 修飾語区分には「右」、「左」または「その他」を表す「L」、「R」または「N」を修飾語区分の先頭に付加する。				
3	imageChange			
	選択されたエリアに合わせて画像を変更し、修飾語の検索を行う。			

5.17.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
1	imageClick			
	選択されたエリアの修飾語を検索しリストに表示する。 画像を再描画する。			
2	click(ListView)			
	選択された修飾語をセレクション状態にする。			
3	imageDbClick			
	なし			
4	dblClick(ListView)			
	なし			
5	selectionChange			
	新しいアイテムをセレクション状態にする。			

5.17.6. 初期表示

何も表示しない。

5.17.7. エリア情報、画像

エリア情報、画像情報は第 11 項で記述している INI ファイルに記述する。各アプリケーションはこの INI ファイルを読み込み、このコントロールに情報を渡してやらなければならない。

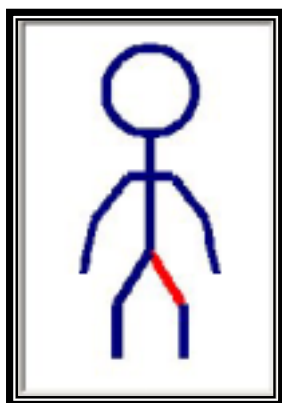
各エリアは、3 角形で形成し、その 3 頂点の座標が INI 情報に記述されていなければならない。

画像の反転表示方法として、エリア毎に、画像を用意しそれを本コントロールがマウスクリックされたエリアの画像に適宜切り替えて表示する。

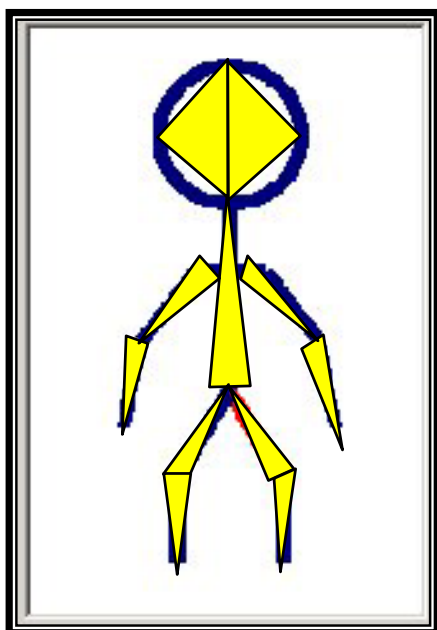
複数エリアが同一の修飾語区分を持つことも可能とする。

エリア情報サンプル

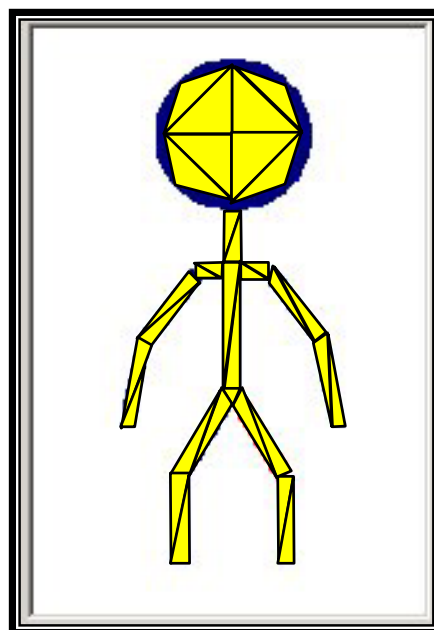
原点	左上
単位	ピクセル



元画像



11エリアに分けた場合



33エリアに分けた場合

5.18 基本修飾語パネル

5.18.1. コントロール構成



5.18.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	JButton	「右」ボタン
2	JButton	「左」ボタン
3	JButton	「両」ボタン
4	JPanel	各ボタンの台紙

5.18.3. プロパティ一覧

特に明記しない限り設定、取得の両方が可能

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内での プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	rightCmdButtonCaption	text		“右”
	「右」CommandButton の表示文字			
2	leftCmdButtonCaption	text		“左”
	「左」CommandButton の表示文字			
3	bothCmdButtonCaption	text		“両”
	「両」CommandButton の表示文字			
4	basicDBAccess		Object	null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

5.18.4. メソッド一覧

なし。

5.18.5. イベント一覧

各アプリケーションは以下のイベントを拾って適宜必要な処理を呼び出す。

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベント
1	rightButtonClick	なし		
	「右」ボタン押下時に発生するイベント			
2	leftButtonClick	なし		

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベント
	「左」ボタン押下時に発生するイベント			
3	bothButtonClick	なし		
	「両」ボタン押下時に発生するイベント			

5.18.6. 初期表示

なし。

6 データベース

6.1 病名展開マスタ

本システムでは、病名マスタDBを検索速度向上のために病名マスタと異なる論理構造を持つ病名展開マスタDBを使用する。(以降、オリジナルを病名マスタ、本システムで使用するマスタを病名展開マスタとする。)

また、検索速度向上のため、アプリケーション実行時に Index ファイルの情報はメモリ上に展開され保持される。

その他のファイルは必要時に毎回、読み込まれる。

6.1.1. ファイルフォーマット

病名展開マスタのファイルフォーマットはすべて固定長バイナリとする。(階層関係 Index、類似病名は可変長バイナリとする。)

各レコードの区切りには「CRLF」を付加する。

各ファイルの先頭にはヘッダー情報としてバージョン情報(30Byte 固定)が記述されている。

6.1.2. 一覧

病名展開マスタは以下のテーブルから構成される。

	テーブル名	概要	ファイル形式	メモリ上に展開	展開時に使用するテーブル
1	病名 Index	病名検索用 Index テーブル	固定長バイナリ		病名基本 病名補助 病名階層関係
2	修飾語 Index	修飾語検索用 Index テーブル	固定長バイナリ		修飾語 修飾語補助
3	キーワード Index	キーワード検索用 Index テーブル	固定長バイナリ		キーワード 病名補助 修飾語補助
4	病名階層関係 Index	病名階層関係情報	固定長バイナリ		病名分類項目 病名階層関係
5	修飾語階層関係 Index	修飾語階層関係情報	固定長バイナリ		修飾語分類項目 修飾語階層関係
6	病名詳細	病名情報の詳細	固定長バイナリ		病名基本 病名補助
7	修飾語詳細	修飾語情報の詳細	固定長バイナリ		修飾語 修飾語補助
8	キーワード詳細	キーワード情報の詳細	固定長バイナリ		キーワード 病名補助 修飾語補助
9	修飾語区分	修飾語区分に対応する名称	固定長バイナリ		修飾語区分名称
10	類似病名	類似病名の情報	固定長バイナリ		病名基本 病名補助

6.1.3. ファイルサイズ一覧

	テーブル名	データサイズ(Byte)	件数(推定)	ファイルサイズ(推定)
1	病名 Index	311	30000 件	9MB
2	修飾語 Index	243	5000 件	1.1MB
3	キーワード Index	129	210000 件	2.5MB
4	病名階層関係 Index	10	33000 件	0.3MB
5	修飾語階層関係 Index	10	5500 件	5.0KB
6	病名詳細	603	30000 件	1.7MB
7	修飾語詳細	280	5000 件	1.1MB
8	キーワード詳細	24	420000 件	6.5MB
9	修飾語区分	70	100 件	7KB
10	類似病名	10	5000 件	4.5KB

ヘッダーサイズ含まず

6.2 病名展開マスタ詳細

6.2.1. 病名 Index

記述形式

病名 ID,病名表記,病名表記カナ,詳細データ位置,類似病名位置 / 個数,採択区分,子ノード位置,病名正規化情報

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
1	病名 ID	9	病名マスタ - 病名階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID XXXXXXXXXX
2	病名表記	60	病名の表記または、分類項目名称 XXXXXXXXXXXXXXXXXX
3	病名表記カナ	100	病名の表記カナ XXXXXXXXXXXXXXXXXX
4	詳細データ位置	8	病名詳細ファイル内の該当データの位置 (Offset) 先頭 Byte 位置
5	類似病名データ位置	8	類似病名データ位置 (Offset) 先頭 Byte 位置
6	類似病名データ個数	4	類似病名ファイル内の該当データの個数 個数
7	採択区分	1	1:レベル1病名 2:レベル2病名 3:互換表記 1、2 or 3
8	子ノード位置	8	病名階層情報ファイル内の該当データの位置 (Offset) 先頭 Byte 位置
9	子ノード個数	4	病名階層情報ファイル内の該当データの個数 個数

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
10	病名コード正規化情報	94	他の病名表記と9個以内の修飾語との合成により表現できる情報。 病名マスタ - 病名補助テーブルの病名コード正規化情報がブランクの場合、自分の病名交換用コードを設定する。 +病名交換用コード+修飾語コード+...
			病名交換用コード XXXX
11	病名交換用コード	4	病名交換用コード XXXX

6.2.2. 修飾語 Index

記述形式

修飾語 ID, 修飾語表記, 修飾語表記カナ, 修飾語区分, 詳細データ位置, 子ノード位置, 修飾語正規化情報

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
1	修飾語 ID	9	病名マスタ - 修飾語階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID XXXXXXXXXX
2	修飾語表記	40	修飾語の表記または分類項目名称 XXXXXXXXXXXXXXXXXX
3	修飾語表記カナ	60	修飾語の表記カナ XXXXXXXXXXXXXXXXXX
4	修飾語区分	8	修飾語のカテゴリコード XXXXXXXXXX
5	詳細データ位置	4	修飾語詳細ファイル内の該当データの位置 (Offset) 先頭 Byte 位置
6	子ノード位置	7	修飾語階層情報ファイル内の該当データの位置 (Offset) 先頭 Byte 位置
7	子ノード個数	4	修飾語階層情報ファイル内の該当データの個数 個数
8	修飾語コード正規化情報	94	他の病名表記と9個以内の修飾語との合成により表現できる情報。 病名マスタ - 病名補助テーブルの病名コード正規化情報がブランクの場合、自分の病名交換用コードを設定する。 +修飾語コード+修飾語コード+...
9	排他グループコード	4	排他グループコード XXXX

6.2.3. キーワード Index

病名マスタ - キーワードテーブルに登録されているデータ、病名マスタ - 病名補助テーブルの病名同義表記生成情報、および病名マスタ - 修飾語補助テーブルの修飾語同義表記生成情報を元に、キーワード詳細に展開する。

記述形式

キーワード,病名位置 / 個数,修飾語位置 / 個数

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
1	キーワード	100	キーワード
			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
2	病名位置	8	キーワード詳細ファイル内の該当データの位置 (Offset)
			先頭 Byte 位置
3	病名個数	4	キーワード詳細ファイル内の該当データの個数
			個数
4	修飾語位置	8	キーワード詳細ファイル内の該当データの位置 (Offset)
			先頭 Byte 位置;個数
5	修飾語個数	4	キーワード詳細ファイル内の該当データの個数
			個数

6.2.4. 病名階層関係 Index テーブル

記述形式

病名 ID

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
1	病名 ID	9	任意のノードに対する子ノードの病名 ID
			子ノード病名 ID

6.2.5. 修飾語階層関係 Index テーブル

記述形式

修飾語 ID

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
1	修飾語 ID	9	任意のノードに対する子ノードの修飾語 ID
			子ノード修飾語 ID

6.2.6. 病名詳細

記述表現は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

記述形式

病名 ID,病名表記,病名表記カナ,採択区分,病名交換用コード,ICD10 - 1,ICD10 - 2,ICD10 確度,複数 ICD 候補,レセ電算コード,レセ電算対応表記,レセ電算対応確度,類似病名コード,接続修飾語区分コード,病名コード正規化情報

項番	フィールド名	最大長	説明
1	病名 ID	9	病名マスタ - 病名階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID
2	病名表記	60	病名表記名称または分類項目名称
3	病名表記カナ	100	病名表記のカナ文字列 分類項目の場合、ブランクとする。
4	採択区分	1	1: レベル1 病名 2: レベル2 病名 3: 互換表記
5	病名交換用コード	4	採択区分が1、または2の病名に対して一意に設定されたコード
6	ICD10-1	5	プライマリ ICD10 コード
7	ICD10-2	5	二重分類コード
8	ICD10 確度	3	ICD10-1 フィールドの値の確度
9	複数 ICD 候補	150	ICD10 確度が Cxx の場合に可能性のある複数の ICD10 コードが最大10個設定される。
10	レセ電算コード	33	病名に対するレセ電算コード
11	レセ電算対応表記	60	レセ電算用語
12	レセ電算対応確度	1	1: 異体字、修飾語の語順、接続詞の違いを除けば基本的に表記が一致するもの。 2: 表記は異なるが保険請求上はほぼ同義のもの。 3: 広義の用語であるが保険請求上は病名情報が伝わると考えられるもの。 9: 対応なし
13	類似病名コード	4	近い概念と考えられる複数の病名のうち、任意の1病名の病名交換用コード
14	接続修飾語区分コード	49	接続頻度の高い修飾語の接続区分コード
15	病名コード正規化情報	94	病名表記が他の病名表記1個と9個以内の修飾語との合成により表現できる場合の情報
16	修飾語ジャンプ情報	9	修飾語ツリー検索時に使用する良く使う修飾語へのジャンプ情報(修飾語:D)

6.2.7. 修飾語詳細

記述表現は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

記述形式

修飾語 ID, 修飾語表記, 修飾語表記カナ, 修飾語コード, 接続位置区分, 修飾語区分, 排他グループコード,
レセ電算修飾語コード, 修飾語正規化情報

項番	フィールド名	最大長	説明
1	修飾語 ID	8	病名マスタ - 修飾語階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID
2	修飾語表記	40	修飾語表記名称または分類項目名称
3	修飾語表記カナ	60	修飾語表記名称のカナ 分類項目の場合、ブランクとする。
4	修飾語コード	9	修飾語コード
5	接続位置区分	2	接続位置区分
6	修飾語区分	8	修飾語のカテゴリーコード

項番	フィールド名	最大長	説明
7	排他グループコード	4	同時に使用できない修飾語の排他グループコード
8	レセ電算修飾語コード	4	レセ電算修飾語コード
9	修飾語コード正規化情報	94	修飾語表記が他の修飾語との合成により表現できる場合の情報
10	修飾語説明用ラベル	40	この修飾語の補足説明

6.2.8. キーワード詳細

記述形式は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

病名マスタ - キーワードテーブルに登録されているデータ、病名マスタ - 病名補助テーブルの病名同義表記生成情報、および病名マスタ - 修飾語補助テーブルの修飾語同義表記生成情報を元に、キーワード詳細に展開する。

記述形式

コード,病名修飾語区分,カナ漢字区分,同義語区分,異字体区分,第1版採用表記,言語区分,省略区分

項番	フィールド名	最大長	説明
1	ID	9	病名IDまたは修飾語ID
2	病名修飾語区分	1	1:病名 2:修飾語
3	カナ漢字区分	1	1:漢字キーワード 2:カナキーワード 9:その他
4	同義語区分	1	0:病名また修飾語そのもの 1:病名または修飾語の同義語 2:病名または修飾語の同義語 3:上記以外、または検索用の部分文字列
5	異字体区分	1	1:誤記を含むキーワード
6	第1版採用表記	1	1:第1版での見出しである 2:上記ではない
7	言語区分	1	1:日本語キーワード 2:外国語キーワード
8	省略区分	1	1:略語 2:略語以外

6.2.9. 修飾語区分

記述形式は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

記述形式

修飾語区分,区分名称

項番	フィールド名	最大長	説明
1	修飾語区分	8	修飾語のカテゴリコード
2	区分名称		区分の名称

6.2.10. 類似病名

記述形式は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

記述形式

病名 ID

項番	フィールド名	最大長	説明
1	病名 ID	9	病名マスタ - 病名階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID

7 データ構造

7.1 データ構造一覧

病名展開マスタを元に本システムでは以下のようなデータ構造を持つデータを取り扱う。

	データ	概要	データ保持方法	使用ファイル
1	病名 Index	病名 Index および階層関係ファイルを元に階層構造を持った病名情報を持つ。 親ノード、子ノードの双方向ポインタを持つ。	メモリ	病名 Index 病名階層関係
2	修飾語 Index	修飾語 Index および階層関係ファイルを元に階層構造をもった修飾語情報を持つ。 親ノード、子ノードの双方向ポインタを持つ。	メモリ	修飾語 Index 修飾語階層関係
3	キーワード Index	キーワード詳細への Index 情報を持つ。	メモリ	キーワード Index
4	病名詳細	病名情報の詳細 病名 Index はこの詳細へのポインタ(行番号)を持つ。	ファイル	病名詳細
5	修飾語詳細	修飾語情報の詳細 修飾語 Index はこの詳細へのポインタ(行番号)を持つ。	ファイル	修飾語詳細
6	キーワード詳細	キーワード情報の詳細 キーワード Index はこの詳細へのポインタ(行番号および個数)を持つ。	ファイル	キーワード詳細
7	修飾語区分	修飾語区分に対応する名称	メモリ	修飾語区分
8	類似病名	類似病名の情報 病名 Index はこの情報へのポインタ(行番号および個数)を持つ。	ファイル	類似病名

データ保持方法:メモリ 全データをメモリに保持する。ファイル 必要時に毎回、読み込む。

7.2 データ構造図

別紙データ構造図を参照のこと。

7.3 メモリ上に展開するデータのサイズ

病名表記、正規化情報等、実サイズが不定のものは各最大長の7割で計算した。

	データ	サイズ(Byte)	件数(推定)	サイズ(推定)
1	病名 Index	149	33000 件	4.7 MB
2	修飾語 Index	141	5500 件	0.8 MB
3	キーワード Index	94	210000 件	19 MB
4	修飾語区分	50	100 件	5 KB

7.4 構成

7.4.1. 病名 Index

親ノード、子ノードの双方向ポインタを持ち、ツリー構造の状態でもメモリに保持する。

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	病名 ID	String	病名 Index / 病名 ID
2	病名表記	String	病名 Index / 病名表記
3	病名表記カナ	String	病名 Index / 病名表記カナ
4	詳細データ位置	Long	病名 Index / 詳細データ位置
5	類似病名データ位置	Long	病名 Index / 類似病名データ位置
6	採択区分	String	病名 Index / 採択区分
7	親ノードポインタ	ArrayList	親ノードへのポインタリスト
8	子ノードポインタ	ArrayList	子ノードへのポインタリスト
9	病名コード正規化情報	String	病名 Index / 病名コード正規化情報
10	病名交換用コード	String	病名 Index / 病名交換用コード

7.4.2. 修飾語 Index

親ノード、子ノードの双方向ポインタを持ち、ツリー構造の状態でもメモリに保持する。

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	修飾語 ID	String	修飾語 Index / 修飾語 ID
2	修飾語表記	String	修飾語 Index / 修飾語表記
3	修飾語表記カナ	String	修飾語 Index / 修飾語表記カナ
4	修飾語区分	String	修飾語 Index / 修飾語区分
5	詳細データ位置	long	修飾語 Index / 詳細データ位置
6	親ノードポインタ	ArrayList	親ノードへのポインタリスト
7	子ノードポインタ	ArrayList	子ノードへのポインタリスト
8	修飾語コード正規化情報	String	修飾語 Index / 修飾語コード正規化情報
9	排他グループコード	String	修飾語 Index / 排他グループコード

7.4.3. キーワード Index

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	キーワード	String	キーワード Index / キーワード
2	病名位置	long	キーワード Index / 病名位置
3	病名個数	int	キーワード Index / 病名個数
4	修飾語位置	long	キーワード Index / 修飾語位置
5	修飾語個数	int	キーワード Index / 修飾語個数

7.4.4. 修飾語区分

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	修飾語区分	String	修飾語区分 / 修飾語区分

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
2	区分名称	String	修飾語区分 / 区分名称

7.4.5. その他

上記以外のデータ構造は各ファイルの構造と同一とする。

8 メッセージ

病名 DB 基本アクセスライブラリ、JavaBeans 内で発生したエラーに対応するメッセージとのマッピングは各アプリケーションが行う。

エラーメッセージは、テキストファイルで管理しアプリケーションと同一のディレクトリに配置する。

8.1 記述形式

1行にエラーID、エラーメッセージを対にして記述する。

エラーIDとエラーメッセージのセパレートとして「=(半角イコール)」を使用する。複数のイコールが記述されていた場合、左端から検索し、最初に見つかった「=」で区切ることとする。

記述形式

エラーID=エラーメッセージ

コメントは行の先頭に「#」を付加する。

例)

100000=1件も見つかりませんでした。

100001=この修飾語は追加できません。

8.2 メッセージ ID

メッセージ ID は各ファイル単位で ID を振る。

項番	ライブラリ、コントロール、アプリ名	メッセージ種	ID
1	DB アクセス基本ライブラリ	通常	100000 ~ 149999
		エラー	150000 ~ 199999
2	病名検索 JavaBeans	通常	200000 ~ 249999
		エラー	250000 ~ 299999
3	システム予約(現在未使用)	通常	300000 ~ 349999
		エラー	350000 ~ 399999
4	システム予約(現在未使用)	通常	400000 ~ 449999
		エラー	450000 ~ 499999
5	システム予約(現在未使用)	通常	500000 ~ 549999
		エラー	550000 ~ 599999
6	展開ツール	通常	600000 ~ 649999
		エラー	650000 ~ 699999
7	空き	通常	700000 ~ 749999
		エラー	750000 ~ 799999
8	アプリケーション	通常	800000 ~ 849999
		エラー	850000 ~ 899999
9	システム予約	通常	900000 ~ 949999
		エラー	950000 ~ 999999

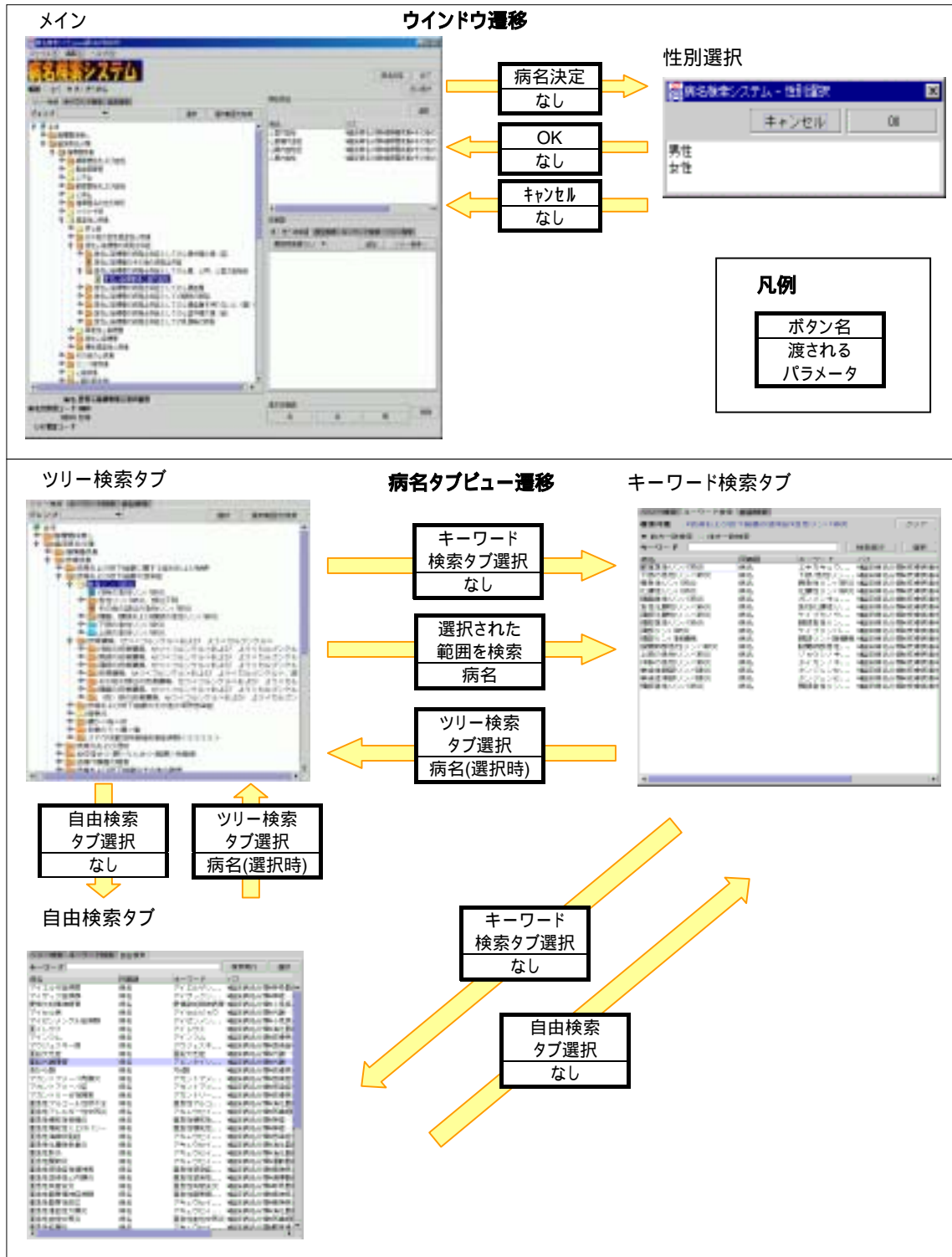
8.3 アプリケーション

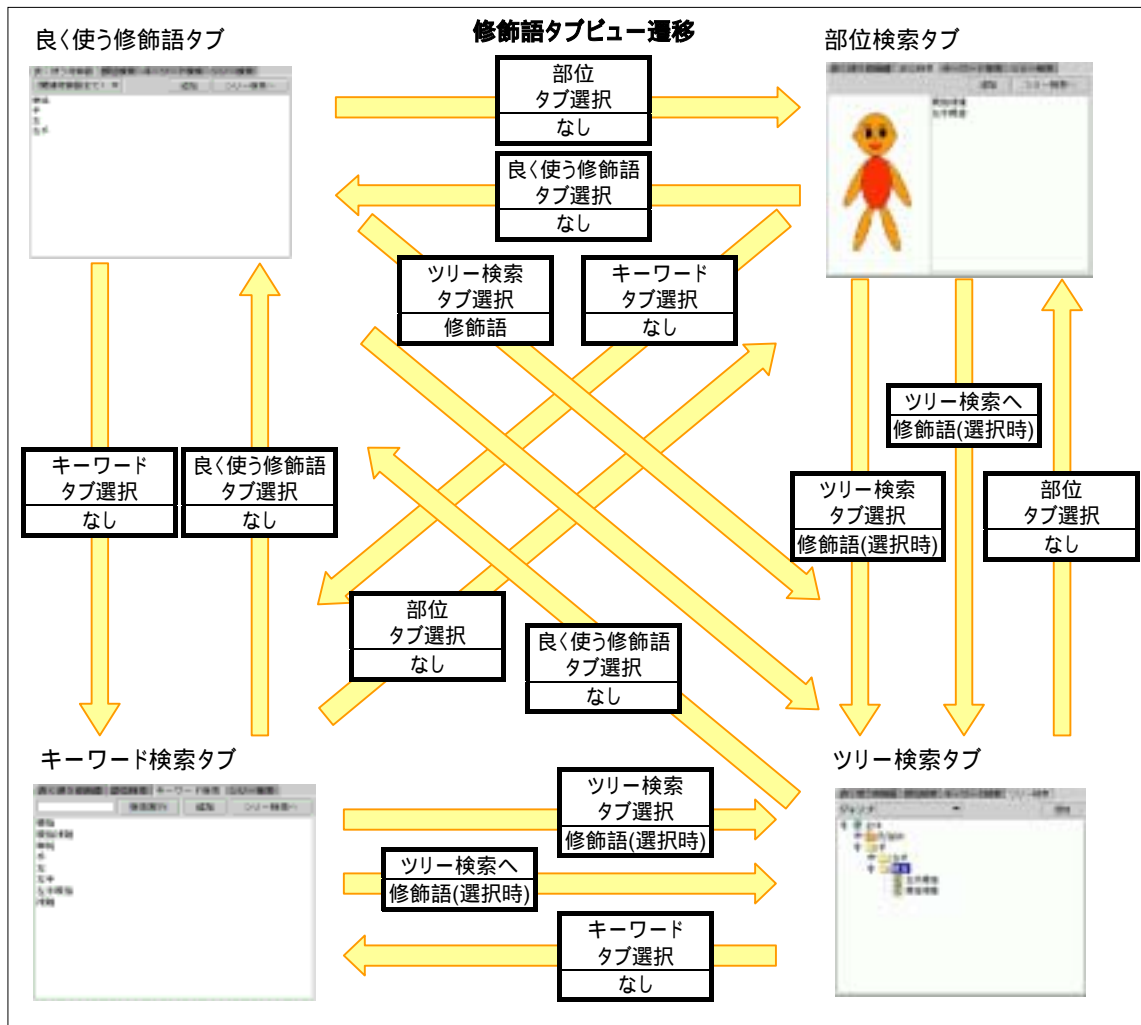
アプリケーションのメッセージファイル

ファイル名: disFINDER.msg

9 アプリケーション

9.1 画面展開





9.2 動作環境

アプリケーションは以下の環境で正しく動作するように作成する。

1	画面サイズ	1024x768以上
2	画面の色	High Color (16bit)
3	画面のフォントサイズ	小さいフォント
4	スクロールバー	16
5	アクティブウィンドウの境界	1

9.3 Undo 機能

アプリケーションは以下の操作の Undo 機能(1操作前まで)を持つ。

	機能	概要
1	病名選択の Undo	病名を再選択すると修飾語はクリアされるが、Undo を実施すると修飾語を含めて以前の病名(病名選択操作直前の状態)に戻す。

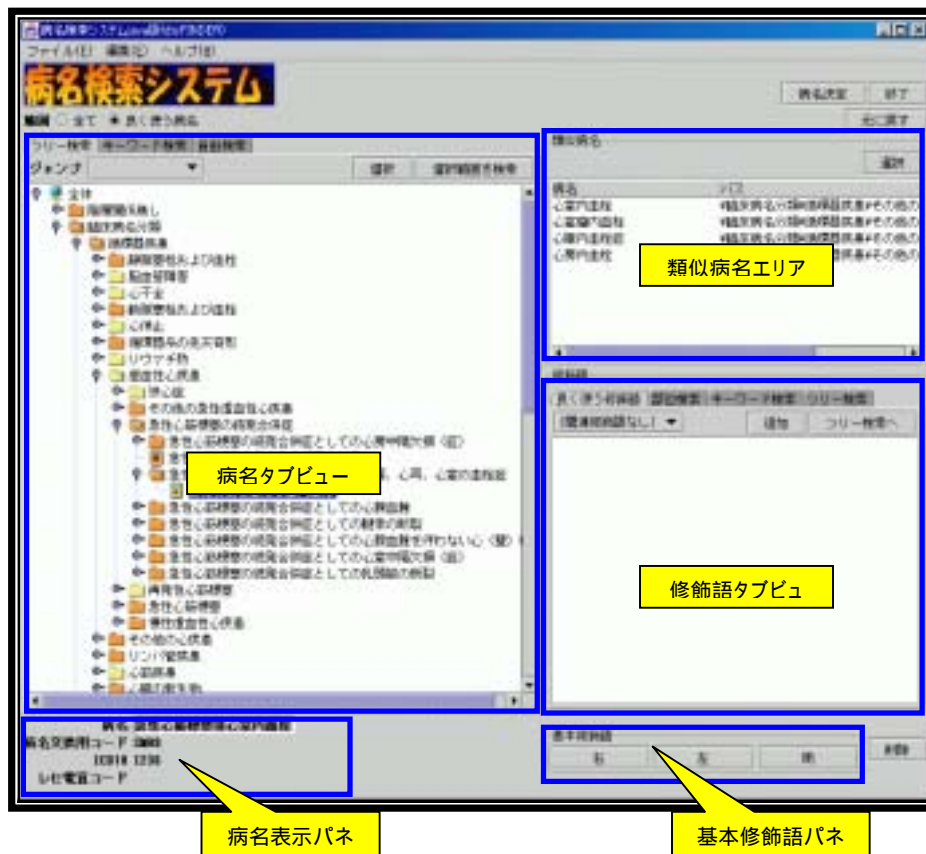
	機能	概要
2	修飾語追加の Undo	修飾語追加操作直前の状態に戻す。
3	修飾語削除の Undo	修飾語削除操作直前の状態に戻す。

9.4 メインウィンドウ

病名の検索他修飾語の検索を行うメイン画面である。タブの切り替えでツリー検索、キーワード検索等を行うことができる。

9.4.1. 構成

病名タブビュー、類似病名エリア、修飾語タブビュー、病名表示パネル、基本修飾語パネル、その他のエリアの6つから構成される。



9.4.2. 病名タブビュー

病名タブビューは3つのタブに分かれる。

- ツリー検索
- キーワード検索
- 自由検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
病名タブビュー	javax.swing.JTabbedPane	background	LightGray
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	3
		その他	コントロールの規定値

タブ名称

項番	名称	Index
1	ツリー検索	0
2	キーワード検索	1
3	自由検索	2

9.4.3. 病名ツリー検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ジャンプラベル	JLabel	BackColor	LightGray
		text	ジャンプ
		font	強調フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ジャンプドロップダウン	JComboBox	background	White
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		editable	false
		TabIndex	4
	イベント	処理	
	itemStateChanged	引数に現在選択されている病名パスをセットして病名ツリー検索ビューの検索を実行する。	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名ツリー検索ビュー	DiseaseTreeSearchView	TabIndex	5
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選択ボタン	JButton	background	LightGray
		text	選択
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	6
	イベント	処理	
actionPerformed	病名ツリー検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名パネルへ病名 ID をセットする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
範囲検索ボタン	JButton	background	LightGray
		text	選択された範囲を検索
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	7
	イベント	処理	
actionPerformed	病名ツリー検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名キーワード検索ビューに病名パス、範囲(レベル 1 or レベル 2)をセットする。 キーワード検索タブに遷移する。 セレクションされている病名の子孫のみが検索対象となる。		

ジャンプドロップダウン項目

INI ファイルに設定されているジャンプ情報を元に項目リストを作成する。

表示順は INI ファイルに記述されている順番とする。

表示項目は表示名とする。

9.4.4. 病名キーワード検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索対象ラベル	JLabel	background	LightGray
		text	検索対象
		font	強調フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索対象病名パスラベル	JLabel	background	LightGray
		text	ブランク
		font	強調フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
前方一致ラジオボタン	JRadioButton	background	LightGray
		text	前方一致検索
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	8
		selected	True
その他	コントロールの規定値		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
後方一致ラジオボタン	JRadioButton	background	LightGray
		text	後方一致検索
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	9
		selected	False
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワードラベル	JLabel	background	LightGray
		text	キーワード
		font	強調フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワード入力	JTextField	background	White
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	11
		text	ブランク
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索ボタン	JButton	background	LightGray
		text	検索実行
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	12
	イベント	処理	
actionPerformed	病名パス、検索方法(前方、後方一致)、キーワードを引数として病名キーワード検索ビューの検索を実行する。		

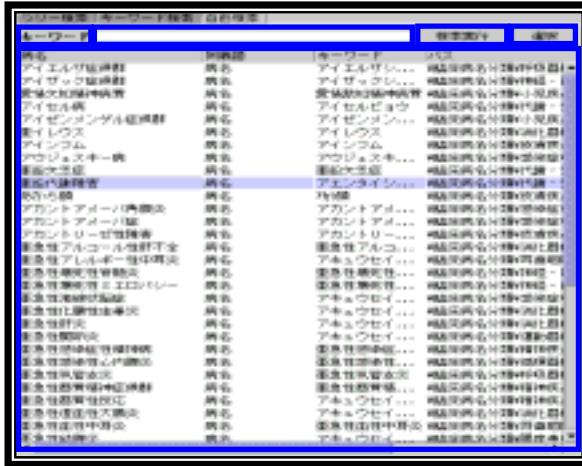
コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選択ボタン	JButton	background	LightGray
		text	選択
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	13
	イベント	処理	
actionPerformed	病名キーワード検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名ツリー検索ビューに病名パスを設定する 病名パネルに病名 ID をセットする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
クリアボタン	JButton	background	LightGray
		text	クリア
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	10
	イベント	処理	
actionPerformed	検索対象をクリアする。 病名キーワード検索ビューをクリアする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名キーワード 検索ビュー	DiseaseKeywordSearchView	TabIndex	14
		全て	コントロールの規定値

病名自由検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワードラベル	JLabel	background	LightGray
		rtext	キーワード
		font	強調フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワード入力	JTextField	background	LightGray
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	14
		text	ブランク
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索ボタン	JButton	background	LightGray
		text	検索実行
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	16
	イベント	処理	
actionPerformed	キーワードを引数として病名自由検索ビューの検索を実行する。検索方法は部分一致とする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選 択 ボ タ ン	JButton	background	LightGray
		text	選択
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	17
	イベント	処理	
actionPerformed	<p>名自由検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名ツリー検索ビューに病名パスを設定する。 病名パネルに病名 ID をセットする。</p>		

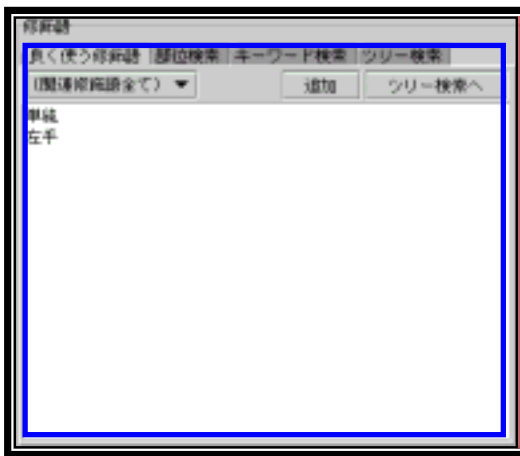
コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名キーワード 検索ビュー	DiseaseFreeSearchView	TabIndex	14

9.4.5. 修飾語タブビュー

修飾語タブビューは 4 つのタブに分かれる。

- 良く使う修飾語
- 部位検索
- キーワード検索
- ツリー検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
修飾語フレーム	JPanel	background	LightGray
		text	修飾語
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

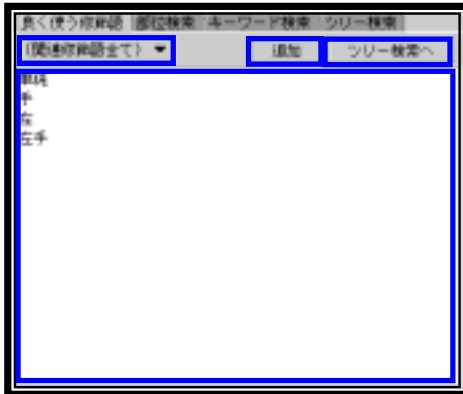
コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
修飾語タブビュー	javax.swing.JTabbedPa ne	background	LightGray
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	18
		その他	コントロールの規定値

タブ名称

項番	名称	Index
1	良く使う修飾語	0
2	部位検索	1
3	キーワード検索	2
4	ツリー検索	3

9.4.6. 良く使う修飾語

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ドロップダウン	JComboBox	background	White
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		editable	false
	TabIndex	19	
	イベント	処理	
	itemStateChanged	引数に現在選択されている部位修飾語区分をセットして良く使う修飾語ビューの検索を実行する。	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
良く使う修飾語ビュー	ConnectiveModifierSearchView	TabIndex	20
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
追加ボタン	JButton	background	LightGray
		text	選択
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	21
		イベント	処理
	actionPerformed	良く使う修飾語ビューからセレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 病名パネルへ修飾語 ID を追加する。	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ツリー検索へ	JButton	background	LightGray
		text	選択された範囲を検索
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	22

	イベント	処理
	actionPerformed	<p>良く使う修飾語ビューからセレクトされている修飾語の修飾語 ID を取得する。</p> <p>エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、修飾語ツリー検索ビューに修飾語 ID を設定する。</p> <p>修飾語ツリー検索タブに遷移する。</p>

ドロップダウン項目

DB アクセス基本ライブラリの「良く使う修飾語区分ドロップダウン項目検索メソッド」を呼び出し、項目を取得する。

9.4.7. 修飾語部位検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
部位修飾語検索ビュー	PartModifierSearchView	TabIndex	23
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
追加ボタン	JButton	background	LightGray
		text	追加
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	24
	イベント	処理	
actionPerformed	部位修飾語検索ビューからセレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 病名パネルへ修飾語 ID を追加する。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ツリー検索へ	JButton	background	LightGray
		text	選択された範囲を検索
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	25
	イベント	処理	
actionPerformed	部位修飾語検索ビューからセレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、修飾語ツリー検索ビューに修飾語 ID を設定する。 修飾語ツリー検索タブに遷移する。		

9.4.8. 修飾語キーワード検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
修飾語キーワード検索ビュー	ModifierKeywordSearchView	TabIndex	28
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワード入力	JTextField	background	White
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	26
		text	ブランク
	その他	コントロールの規定値	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索ボタン	JButton	background	LightGray
		text	検索実行
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	27
	イベント	処理	
	actionPerformed	検索方法(前方一致)、キーワードを引数として修飾語キーワード検索ビューの検索を実行する。	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
追加ボタン	JButton	background	LightGray
		text	追加
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	29
	イベント	処理	

	actionPerformed	修飾語キーワード検索ビューからセレクトされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 病名パネルへ修飾語 ID を追加する。
--	-----------------	--

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ツリー検索へ	JButton	background	LightGray
		text	選択された範囲を検索
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	30
	イベント	処理	
	actionPerformed	修飾語キーワード検索ビューからセレクトされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、修飾語ツリー検索ビューに修飾語 ID を設定する。 修飾語ツリー検索タブに遷移する。	

9.4.9. 修飾語ツリー検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ジャンプラベル	JLabel	background	LightGray
		text	ジャンプ
		font	強調フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ジャンプドロップダウン	JComboBox	background	White
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		editable	false
		TabIndex	31
	イベント	処理	
itemStateChanged	引数に現在選択されている病名パスをセットして病名ツリー検索ビューの検索を実行する。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
修飾語ツリー検索ビュー	ModifierTreeSearchView	TabIndex	32
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
追加ボタン	JButton	background	LightGray
		text	追加
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	33
	イベント	処理	

	actionPerformed	修飾語ツリー検索ビューからセレクトされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名パネルへ病名 ID をセットする。
--	-----------------	--

ジャンプドロップダウン項目

DB アクセス基本ライブラリの「修飾語ジャンプドロップダウン項目検索メソッド」を呼び出し、項目を取得する。
病名 ID を修飾語ツリー検索ビューに渡していない場合は、項目は空。

9.4.10. 類似病名エリア

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
類似病名フレーム	JPanel	background	LightGray
		text	類似病名
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
類似病名検索ビュー	DiseaseResembleSearchView	TabIndex	34
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選択ボタン	JButton	background	LightGray
		text	選択
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	35
	イベント	処理	
	actionPerformed	類似病名検索ビューからセレクションされている病名パス、病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名ツリー検索へ病名パスを設定し、病名パネルへ病名 ID をセットする。	

9.4.11. 病名表示パネル

コントロール構成

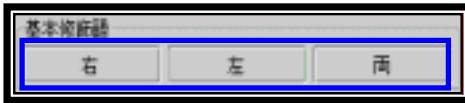


コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名表示パネル	DiseasePanel	全て	コントロールの規定値

9.4.12. 基本修飾語パネル

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
基本修飾語フレーム	JPanel	background	LightGray
		text	基本修飾語
		font	標準フォントタイプ
		foneground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名表示パネル	DiseasePanel	TabIndex	36
		全て	コントロールの規定値

9.4.13. その他

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
範囲ラベル	JLabel	background	LightGray
		text	範囲
		font	強調フォントタイプ
		foreground	Black
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
全てラジオボタン	JRadioButton	background	LightGray
		text	全て
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	1
		selected	True
その他	コントロールの規定値		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
良く使う病名ラジオボタン	JRadioButton	background	LightGray
		text	良く使う病名
		font	標準フォントタイプ
		foreground	Black
		TabIndex	2
		selected	False
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名決定ボタン	JButton	background	LightGray
		text	病名決定
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	38
	イベント	処理	
actionPerformed	ICD10 確度が「C01」の場合、性別選択ダイアログを表示する。 病名パネルをクリアする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
終了ボタン	JButton	background	LightGray
		text	終了
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	39
	イベント	処理	
actionPerformed	アプリケーションの終了		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
元に戻すボタン	JButton	background	LightGray
		text	元に戻す
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	37
	イベント	処理	
actionPerformed	1つ前の状態へ戻す。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
削除ボタン	JButton	background	LightGray
		text	削除
		font	標準フォントタイプ
		TabIndex	38
	イベント	処理	
actionPerformed	病名パネルの修飾語削除メソッドを呼び出す。		

メニュー項目



メニュータイトル	メニュー項目	アクセラレートキー	ショートカットキー	概要
ファイル		ALT + F		
ファイル	終了	ALT + Q	CTRL + Q	アプリケーションの終了
編集		ALT + E		
編集	元に戻す	ALT + Z	CTRL + Z	1操作前の状態へ戻す
編集	病名の削除	ALT + X	CTRL + X	病名を削除する
ヘルプ		ALT + H		
ヘルプ	バージョン情報	ALT + A	CTRL + A	バージョン情報を表示する。

10 INI ファイル

このファイルにはアプリケーションを実行するために必要な諸情報が記述されている。

10.1 記述形式

テキスト形式で属性と値のセパレートは「=(半角イコール)」とする。

各属性はそれぞれ「キー」となるグループ名を持つ。キーは各属性グループの先頭行に「[キー名]」の形で記述する。

コメントは行の先頭に「#」を付加する。

例)

[メッセージファイル]

メッセージファイル = disFINDER.msg

[良く使う病名]

良く使う病名 = 骨折;¥内臓の疾患¥心臓疾患¥心筋梗塞

10.2 属性一覧

ファイル名を設定する箇所は項番 1 はフルパスで設定する。それ以外はファイル名だけとする。

項番	属性名	内容	規定値	記述形式
1	メッセージファイル	メッセージファイルのファイル名	disFINDER.msg	『フルパスファイル名』
2	良く使う病名個数	良く使う病名の個数	なし	『個数』
3	良く使う病名 n	病名ツリー検索のジャンプド ロップダウン項目 複数回記述可 n の位置に連番を振る。	なし	『表示名;病名パス』
4	部位エリア個数	部位エリア情報の個数	なし	『個数』
5	部位エリア n	部位エリア情報 複数回記述可 対応画像フォーマットは JPEG、GIF、BMP およびメタ ファイル(WMF.EMF)のみ	なし	『修飾語区分;頂点1X 座標,Y 座標;頂点2X 座標,Y 座標;頂点3X 座標,Y 座標;画像ファ イル名』修飾語区分 には「L(左)」、「 R(右)」、「N(左記以 外)」のどれか1つを 付加する。
6	部位基本画像	部位画像の基本画像 対応画像フォーマットは JPEG、GIF、BMP およびメタ ファイル(WMF.EMF)のみ	Basic.jpg	『ファイル名』
7	病名 Index	病名 Index ファイル名	DiseaseIndex.dat	『ファイル名』
8	修飾語 Index	修飾語 Index ファイル名	ModifierIndex.dat	『ファイル名』
9	キーワード Index	キーワード Index ファイル	KeywordIndex.dat	『ファイル名』
10	階層関係 Index	階層関係 Index ファイル	TreeIndex.dat	『ファイル名』

項番	属性名	内容	規定値	記述形式
11	病名詳細	病名詳細ファイル	DiseaseDetail.dat	『ファイル名』
12	修飾語詳細	修飾語詳細ファイル	ModifierDetail.dat	『ファイル名』
13	キーワード詳細	キーワード詳細ファイル	KeywordDetail.dat	『ファイル名』
14	修飾語区分	修飾語区分名称ファイル	Modifier Classification.dat	『ファイル名』
15	類似病名	類似病名ファイル	Disease Resemble.dat	『ファイル名』
16	画像データディレクトリ	画像データ(項番 5、6)のディレクトリ名	なし	『ディレクトリ名』
17	病名データディレクトリ	病名データ(項番 7 ~ 15)のディレクトリ名	なし	『ディレクトリ名』

11 改訂履歴

バージョン	第 1.0 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2002 / 04 / 20
内容	初版